「いい音」ビューティフル。

自由に気ままに楽しもう、おしゃれなミニカセットレコーダー。

新開発DNSSテープヒスノイズカット回路内蔵。

デジタル選曲機構装備。メタルテープ対応。

小さなボディながらもワイドなステレオサウンドが楽しめる《ステレオミニ6600》。2つの9.2cmスピーカーが叩き出す4.6W(2.3W+2.3W、EIAJ/DC)のハイパワーは、豊かなステレオ臨場感を再現します。また曲の頭出しに便利なデジタル選曲機構や、テープ再生中に曲間および曲間に相当する低録音レベル時の耳ざわりなテープヒスノイズをカットする新開発DNSS(ダイナミック・ノイズ・サプレッション・システム)ノイズカット回路を採用。しかもメタルテープ対応ヘッドを搭載しています。

●AM放送の同調がしやすい周波数間隔を広げたロングスケール採用 ●テレビの1、2、3チャンネルが聴けるFMワイドバンド(76～108MHz)採用 ●FM局間ノイズをカットするFMミューティング機能つき ●フルオートストップ機構 ●ソフトイジェクト機構 ●ACアダプター付属

●9.2cmスピーカー×2 ●実用最大出力4.6W(2.3W+2.3W)EIAJ/DC ●3電源/DC:9V(単2×6)、AC:100V50/60Hz(付属ACアダプター使用)、カーバッテリー:別売りカーアダプターD-72使用 ●大きさ幅41.0×高さ13.3×奥行7.3(cm) ●重さ2.5kg(乾電池含む) ★キャリングケース(別売りL-6600 ¥4,000)もございます。

パディスコ6600

ステレオ ミニ

TRK-6600 ¥44,800



品質を大切にする〈技術の日立〉

RADIO CASSETTE RECORDER



HITACHI

―― 生活と技術をむすぶ ――

日立家電販売株式会社

〒105 東京都港区西新橋2 15 12(日立愛宕別館) TEL(03)502-2111

ご購入金額から頭金を差引いた金額が1万2千円から100万円までの場合日立のクレジットがご利用いただけます。

●商品のお問い合わせ、クレジットのご相談、カタログのご請求はお近くの日立の家電品取扱店へどうぞ。★日立カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。★日立カセットレコーダーには保証書がついています。ご購入の際には必ず記入事項をご確認のうえ、お受取りになり、大切に保存してください。

くにびき国体をふり返って

島根県ハンドボール協会理事長　藤原忠男

「このふれあいが未来をひらく」をテーマスローガンに開かれた第37回国民体育大会秋季大会ハンドボール競技も、9月末から降り続いた雨で心配されたが、10月3日の朝からすばらしい秋晴れとなり、9時からの審判会議、そして11時からの代表者会議も予定通り終わり、午後2時からの温泉津会場の開始式、3時30分からの江津会場の開始式も多数の観客を動員して盛会に終った。

本県が国体開催に立候補してから十余年、県協会としては一致団結して大会準備、選手強化にあたってまいりましたが、実際に我々が本格的に準備をしましたのが3年前、昭和54年からでした。今回「くにびき国体」を終わり簡単に反省を記します。

一、大会運営

(イ)競技会場について

競技会場が江津市、温泉津町と二会場に分れており、又、両会場実行委員会にハンドボール経験者が皆無に近く、ルールから勉強していただき、その間20数回にわたり連絡調整会を開き、比較的スムースに準備ができました。

しかし、江津会場は、県立施設、市施設とそれぞれ主管が異なり、会場そのものはもちろん、競技用具等も管理、経費の負担が異なり色々なアクシデントもありましたが、相方の努力により準備ができました。

(ロ)競技役員について

ハンドボール競技人口の少ない当県にとって、4名の審判員と93名の運営役員、実行委員会職員並びに会場地の小・中・高校の教職員を中心に後数名の協会役員が加わり、昨年度のリハーサル大会も含めて数回にわたり日本協会よりご指導を受けましたが、ほとんどが未経験者であり、更に県内大会を利用して講習会を実施しました役員諸氏には大変なご苦労をかけました。実際に現場で直接仕事をするのは高校生補助員ですが、江津高校、江の川高校、温泉津分校のハンドボール部員を中心として編成しましたが、数回の講習会で任務をマスターして大過なく大会を終了しました。

(ハ)競技について

10月4日から開始された競技も晴天に恵まれ試合も順調に消化されましたが、雨天会場を二面しかもたない当県としては、10月4日5日に雨天となれば、午前8時から午後11時まで試合をしなければならなく、選手はもちろん役員も大変な事態となる所でしたが、幸い全日程晴天で取り越し苦労でしたが、日体協の施設基準がハンドボールの場合雨天会場が二面であり、今後機会があれば、施設基準の検討をお願いしたい所です。

二、選手強化

我々が奥川ヘッドコーチを中心として選手強化に取り組んだのが54年4月からでした。高校、大学（実業団）と一貫して競技したものが皆無の状態であり、指導者不足の中にありながら、県内合宿を行ないながら除々に他県への遠征をとおして指導者も勉強しながら指導していく状態でした。それでも、回を重ねる事に力をつけてまいりました。

ご存知のように、当県は地理的に非常に不利な状態におかれ、県内で練習会を開いても集合に大変な時間がかかるし、県外遠征でも必ず宿泊をともなわなければ実施できない状態でした。しかし、東嘉伸アドバイバーコーチを中心に早川氏、本田氏、本野氏、吹上氏等の日本のトップレベルのコーチを招き、強化合宿を重ねてまいりました。途中幾多の困難もありました。コーチの転勤、交替、選手の負傷等があり、30数回のコーチ会議を開き、一つ一つ乗り越えてまいりました。

昭和56年4月からは上田正吉氏（県中体連ハンドボール委員長）を強化部長に推し、氏の積極果敢な行動力と豊富な経験のもとに一段と強化も進んでまいりました。ことに今年夏季休業に入ってからは、連日の合宿、遠征と回を重ね各チームに逞しさがみられるようになりました。

そして9月に入り調整を行ない本大会に臨みましたが、それぞれの種別で最大の成果を発揮し、男女総合三位という立派な成績を収める事ができました。

幾多の困難を乗り越えて進めてきた大会運営、選手強化も、今ふり返ってみれば、役員、選手それぞれが自分達の国体であるという認識のもとに一丸となって努力したからであると思います。

我々はこれを機に、とかく本県ではマイナースポーツといわれているハンドボール競技を今一歩二歩と前進させ、普及、強化に努力する所存でございます。

ここ数年間にわたり本県の為にご尽力いただいた関係者各位に深く感謝の意を表し文を終わらせていただきます。

『ハンドボール』
57年10月号（第212号）目次

【表紙写真】くにびき国体
提供・㈱スポーツイベント

“くにびき”国体で熱戦



秋色ようやく濃くなった山陰石見路の江津市及び温泉津町において、くにびき国体ハンドボール競技が行なわれました。

「弁当は忘れても傘は忘るれな」と言われるほど雨が多く、とくに九月は降雨続きだった山陰地方、その空が国体開会式を待っていたかのように晴れ上がり、両市町のグラウンドで行なわれたハンドボール開始式は、温泉津町婦人会の民謡踊り、江津市内小学生の鼓笛隊も花を添えて、地理上の関係で参加できなかった全体の開会式に勝るとも劣らぬ、華麗なうちにも心温まる素晴しいものでした。日夜準備に心血を注いできた地元関係者の日焼けした顔もほころぶひとときではありました。

出雲地方の一部には、民家の土間にお茶台を置いておいて、留守中に訪れたお客さんや郵便屋さんは自分でお茶を入れて呑んでいくならわしが残っているそうですが、それほど人に親切な県民性を残しているところです。神代の雄大な国づくりのロマンスが今でも息づいているような錯覚をおぼえるほどです。

さて、競技の方は全県出場の成人女子が温泉津会場、その他の種別が江津会場に別れて熱戦を繰り広げました。

快晴の初日、江津高校運動場での少年男子、氷見高校（富山）が新居浜工業高校（愛媛）に大接戦の末敗れて早くも姿を消しましたが、続く大阪高校選抜対山口少年男子選抜も好ゲームを展開しました。

また、少年女子、成年の男子、女子もすべてが好ゲームで会場を湧かせました。





くにびき国体の開会式は珍しく晴れ上った

成年男子

▽1回戦

湯沢クラブ（秋田）23（11―5、12―9）14 函館有斗クラブ（北海道）

得	【湯沢】		【函館】	得
0	吉田	GK	沢谷	0
2	佐藤	GK	和泉	0
0	高橋	FP	兼田	0
1	古関	FP	新井田	3
3	菅野	FP	高桑	0
1	近野	FP	岡田	2
6	佐々木	FP	佐藤	6
0	藤原	FP	鈴木	1
8	半田	FP	木村	1
2	斎藤	FP	西本	0
		（審・竹村 柳原）	日吉	1
23	（4）	PT	（3）	14

○…前半25分頃までは北海道のペースで展開していたが、秋田は相手のミスに乗じて速攻により加点し、3点リードで前半を終了。後半に入り、秋田の動きもよくなりロング、速攻等で加点する。北海道に攻撃の工夫が欲しかった。（中村）

滋賀クラブ（滋賀）30（14―16、16―8）24 全宮崎（宮崎）

○…よく走った滋賀が快勝した。滋賀は前半中ばより、GKの好守から速攻を連発、試合を有利に進めた。しかし、宮崎も後半追いあげ、3点差まで詰め寄ったが力およばなかった。（竹村）

得	【滋賀】		【宮崎】	得
0	石田	GK	松村	0
0	太田	GK	長友	0
4	位田	FP	原田	0
0	伊藤	FP	田村	4
6	能波	FP	石原	8
9	井上	FP	長野	1
0	武田	FP	末廣	0
3	岩本	FP	佐藤	0
8	村崎	FP	木切	4
0	林田	FP	巣立	0
		（審・東 中本）	船木	6
			米倉	1
30	（4）	PT	（2）	24

全富山（富山）24（16―8、8―12）20 山口県教員団（山口）

得	【富山】		【山口】	得
0	須波	GK	吉村	0
0	瀬川	GK	野村	0
3	中浦	FP	坂本	1
2	指崎	FP	赤地	3
2	吉井	FP	林	0
1	山崎	FP	山根	0
0	大房	FP	方山	9
0	宮下	FP	河上	0
8	秀永	FP	中村	2
0	沢井	FP	勝本	1
0	久津呂	（審・竹村 柳原）	重宗	0
8	越前		島中	4
24	（3）	PT	（1）	20

○…前半15分過ぎまで追いつ追われつの試合展開で、両チームとも速い動きで攻撃するが、今一つ攻めてを欠き加点に苦しむ。山口⑥を中心に得点をあげ一時リードするが、雑な攻撃が多くなり、後半20分過ぎに富山に追いつかれ逆にリードを許す。山口ももう少し落ちついた攻撃が欲しかった。（東）

▽準々決勝

湧永製薬（広島）31（17―9、14―5）14 湯沢クラブ

得	【湧永】		【湯沢】	得
0	井藤	GK	吉田	0
0	大城	GK		
5	津川	FP	佐藤	1
2	生駒	FP	高橋	0
5	穂積	FP	古関	1
0	藤本	FP	菅野	2
1	志賀	FP	近野	0
3	戸田	FP	佐々木	4
1	池ノ上	FP	藤原	1
5	松本	FP	半田	2
5	山本	（審・福田 松尾）	斎藤	3
4	原田		佐藤	0
31	（2）	PT	（2）	14

○…前半25分までは秋田もよく動き善戦していたが、それ以降は広島の走力についていけなかった。（中本）

江津クラブ（島根）27（16―9、11―7）16 高知クラブ（高知）

得	【江津】		【高知】	得
0	川本	GK	久家	0
		GK	沢田	0
3	斎藤	FP	稲田	0
1	小松原	FP	方岡	1
0	浴元	FP	道倉	0
1	福田	FP	大原	5
1	石倉	FP	酒井	4
2	奥川	FP	武田	0
4	野津	FP	岡本	4
11	浜角	FP	宮川	0
2	浅原	（審・東 中本）	中川	1
2	奥谷		西山	1
27	（7）	PT	（2）	16

○…両チーム共、攻撃に決め手がなく、地元の小学生のスタンドからの声に活気があり、プレーヤーはコートで空廻り的であったが、島根の得点がはいってからは動きが多少良くなったものの荒っぽいゲームが続き、ペナルティーの差で前半を折り返す。島根は後半多少動きが良くなり、高知の動きが悪くなってきたところを速攻で得点し勝利を得る。（松尾）

滋賀クラブ 23（12―11、11―10）21 三陽商会（東京）

得	【滋賀】		【三陽】	得
0	石田	GK	大山	0
0	太田	GK	田村	0
1	位田	FP	岡	7
1	伊藤	FP	金子	0
10	能波	FP	田口	3
6	井上	FP	坪子	0
0	武田	FP	砂川	6
3	岩本	FP	山口	1
2	村崎	FP	石原	3
0	林田	（審・松尾 福田）	望月	0
			鵜沢	1
23	（1）	PT	（2）	21

○…最後まで勝敗のわからない試合であったが、相手のシュートミスとGKの好守により滋賀勝利を得る。（東）

大同特殊鋼（愛知）26（13―7、13―7）14 全富山

○…富山は数々の全日本大会のカップを獲得している大同に、身長差も頭一つ異るチームで右45度及びサイド攻撃で前半17分まで6対6の同点と展開した。一方、大同は富山GK須波の好守にシュートを阻まれ苦戦をしいられたが、



日本が生んだ世界のボール

日本ハンドボール協会検定球（J・H・A）

タチカラシームレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れた L・B・C中空製法です。

TACHIKARA タチカラ　タチカラ株式会社

	【大同】	得	【富山】	得
GK	柳川清	0	須波	0
GK	上村	0	瀬川	0
FP	田中	0	中浦	1
FP	田口	6	指崎	0
FP	更谷	0	吉井	5
FP	柳川実	6	山崎	3
FP	大原	5	大房	1
FP	中本	3	宮下	0
FP	浦田	2	沢井	0
FP	蒲生	4	久津呂	0
FP	花輪	0	越前	4
FP	市川	0		
PT		(1) 26		14 (1)

（審・東 中本）

持前の力量を段々発揮して前半6点差とする。

後半に入っても、富山は忠実なディフェンスと粘りある攻撃で大同をおびやかしたが、身長差のハンデをおぎなう事が出来ず勝利を大同にゆずった。（福田）

▽準決勝

湧永製薬 27（12－0 15－17）17 江津クラブ

	【湧永】	得	【江津】	得
GK	井藤	0	川本	0
GK	大城	0	藤原	0
FP	津川	4	斎藤	3
FP	生駒	2	小松原	2
FP	穂積	3	浴本	0
FP	藤本	3	福田	0
FP	志賀	0	石倉	0
FP	戸田	1	奥川	1
FP	池ノ上	6	野津	2
FP	松本	2	浜角	6
FP	山本	5	浅原	1
FP	原田	1	奥谷	2
PT		(3) 27		17 (2)

（審・奥田 中川）

○…前半島根が1点先行し、幸先よいスタートをきったが徐々に湧永ペースになり、速攻、ミドルシュート、ポストプレー等多彩な攻撃で得点をかさねた。島根もよくボールを回しサイドにボールを集め善戦したが、湧永ディフェンスのカベは破れなかった。（北山）

大同特殊鋼 27（15－9 12－7）16 滋賀クラブ

	【大同】	得	【滋賀】	得
GK	柳川清	0	石田	0
GK	上村	0	太田	0
FP	田中	1	位田	1
FP	田口	2	伊藤	1
FP	更谷	0	能波	0
FP	柳川実	3	井上	6
FP	大原	6	武田	1
FP	中本	1	岩本	0
FP	浦田	4	村崎	6
FP	蒲生	8	林田	1
FP	花輪	2		
FP	市川	0		
PT		(4) 27		16 (6)

（審・北山 浜野）

○…スピード、パワーともに勝る大同に対し、滋賀は粘り強いボール回しからのポストプレー、サイドシュートなどで対抗したが、結局切れの良い速攻を決めた大同が突き離して決勝進出。（奥田）

▽3位決定戦

滋賀クラブ 26（15－7 11－6）13 江津クラブ

	【滋賀】	得	【江津】	得
GK	石田	0	川本	0
GK	太田	0	藤原	0
FP	位田	3	斎藤	0
FP	伊藤	3	小松原	3
FP	能波	5	浴元	0
FP	井上	4	福田	0
FP	武田	2	石倉	0
FP	岩本	1	奥川	0
FP	村崎	7	野津	0
FP	林田	1	浜角	6
FP			浅原	3
FP			奥谷	1
PT		(3) 26		13 (2)

（審・浜野 北山）

○…島根は前半15分間コンビネーションが合わず、その間に滋賀は着々とゲットし、一時は9対3と大きく点差を開いたが、その後本来の力が出て4点差で後半に勝負がかけられた。

後半3分間で2点連続ゲットした島根は点差をつめるが、小さなミスをついて速攻で滋賀にゲットをゆるし、大量点の差で滋賀に勝利が輝いた。（福田）

▽決勝

湧永製薬 16（10－6 6－9）15 大同特殊鋼

	【湧永】	得	【大同】	得
GK	井藤	0	柳川清	0
GK	大城	0	上村	0
FP	津川	1	田中	0
FP	生駒	1	田口	1
FP	穂積	3	更谷	0
FP	藤本	0	柳川実	4
FP	志賀	1	大原	2
FP	戸田	0	中本	2
FP	池ノ上	4	浦田	2
FP	松本	2	蒲生	4
FP	山本	4	花輪	0
FP	原田	0	市川	0
PT		(2) 16		15 (0)

（審・松尾 福田）

○…前半の始まり、両チーム共セットからサイドにボールを集めシーソーゲームだったが、中盤から後半にかけて湧永のシュートが単調になり大同の速攻を許す結果となった。

後半、3点のリードを許した湧永は、前半とは見違える様な動きを示し、アッと言う間に同点にし中盤まで2点、3点のリード、結局そのまま終了した。大同もよく走ったがもう一歩及ばなかった。（北山）





〈男子成年決勝・広島－愛知戦〉広島のポイントゲッター池の上のジャンプパスを防ぐ愛知蒲生〈上〉と優勝決定の瞬間



新登場、ハンドボールスペシャル。なぜ、「スペシャル」なのか。



あのシェルソールが、ダッシュ力、ストップ性、衝撃吸収性をアップ。

世界選手権を始め、国際大会で圧倒的な使用率を誇り、数々の栄光へ導きつづけるアディダス・ハンドボールシューズが、スポーツ科学の最新の成果を背景にさらに新たなシェルソールを装備して登場しました。その名も「ハンドボールスペシャル」。速攻性の追求はもちろん、ソールの溝は極限の倒れ込みシュートでも安定した軸足を確保。ターンを容易にする回転ゾーンやグリップ性を高める吸盤、トレフォイル(3つ葉)パターンなど、ハンドボール競技におけるフットワークの意味をマキシムまで追求し、ダッシュ力、ストップ性、衝撃吸収性をさらにアップしています。

勝利を呼ぶ3本線

adidas®

The science of sport.



兼松スポーツ用品株式会社

〒532 大阪市淀川区木川東2-5-3☎06·305-1431；〒130 東京都墨田区緑2-12-3☎03·634-1411

成年女子

▽1回戦

福岡市民クラブ（福岡） 13（6－6 7－4）10 TDK（長野）

得	【福岡】		【TDK】	得
0	梅谷	GK	今井	0
0	光安	GK	柳沢め	0
1	藤木	FP	土屋	3
5	川波	（審・角田・村上）	掛川	2
1	福島		小林	1
1	梅崎		新井	1
3	坂本		小平	2
2	森川		小川	0
0	宮島		山下	0
0	臼井		確井	0
0	松田		大井	0
0	白川		柳沢弥	1
13	(1)	PT	(0)	10

○…前半立ち上がり、福岡連続得点で2対0とするが、新チームTDKも良くがんばり福岡の気のゆるみと悪いディフェンスをつき、前半6対6の同点で後半に入り、福岡連続3得点し9対6でリードするが、ペナルティースローを5本はずすミスの連続で大学出身のプレーヤー6名を入れ、後半ロング、ミドルのシュートでにげ切った。

大学出身のプレーヤー6名も入れて新チームTDKに3点差ではあまりにもおそまつな試合であった。（南濤）

有磯高校OG（富山） 11（6－3 5－7）10 御坊クラブ（和歌山）

得	【有磯】		【御坊】	得
0	水口	GK	北岡	0
0	加納	GK	北崎	0
2	山岸	FP	酒井喜	0
1	辰野	（審・佐久田・川島）	玉置真	6
0	浜下		酒井妙	0
0	蓮野		清水	0
2	山下		玉置良	0
0	森田		塩崎	1
2	林		春木	1
2	磯辺		畡山	2
1	安井			
1	星場			
11	(3)	PT	(1)	10

○…前半両チーム共決め手がなく、ペナルティースローの差で有磯が先行した。後半に入っても両チーム共、パスミス、キャッチミスが目だち盛りあがりにかけた試合だった。（北山）

光電クラブ（群馬） 25（14－4 11－6）10 わかくさクラブ（奈良）

得	【光電】		【わか】	得
0	五十嵐	GK	岡本	0
0	高橋左	GK	蜂矢	0
2	高橋敏	FP	田中	0
3	大手	（審・船江・山代）	阪本	1
6	工筆		山田	2
2	松井		森西	0
2	小林		国松	2
3	山本		西村	0
1	林		岩田	4
0	田村		堀内	1
6	吉沢		前田	0
			西岡	0
25	(1)	PT	(1)	10

○…実力の差、わかくさ、たまにコンビのとれた好プレー、GKの好守と見せたものの、光電のスピードについていけず大差がついた。（中村）

宮崎クラブ（宮崎） 17（8－6 9－6）12 岡山カットマスクラブ（岡山）

得	【宮崎】		【岡山】	得
0	大久保	GK	千田	0
0		GK	裏川	0
2	坂本	FP	小薗	0
1	橋口	（審・角田・村上）	鈴山	0
4	松岡		長田	0
0	西村		渡辺	0
2	四位		木口	0
0	中原		竹内	2
6	松本		三原	5
2	和田		田辺	0
			白石	1
			佃	4
17	(0)	PT	(2)	12

○…前半、岡山の⑪がカットインで先制、宮崎速攻でかえして1対1、その後一進一退をくりかえしたが、走力に勝る宮崎が8対4でリードして終る。後半に入ると、宮崎が連続2点を取りリードを広げるが、岡山もサイド攻撃から2点差とするが、その後又宮崎につきはなされてしまった。走力に勝る宮崎の順当勝ち。岡山にもサイド攻撃に見るものがあった（佐伯）

京都クラブ（京都） 21（9－3 12－4）7 アシックスクラブ（鳥取）

○…アシックスは前半5分までに2点先取したが、その後守りの良くなった京都をくずすことが出来ず敗れた。京都は②を軸に守りから速攻へと次々に得点を重ね1回戦を勝ち取った。（佐久田）

得	【京都】		【アシ】	得
0	滝本	GK	梶原	0
0	田村	GK	石橋	0
2	秋田	FP	福浦	2
2	川崎	（審・北山・浜野）	角雅	3
5	矢野		森	1
0	榎崎		木村	0
1	山手		山崎	0
5	成田		瀬田	1
2	真部		塚田	0
3	多田		砂田	0
0	円山		角好	0
1	中江		丸本	0
21	(2)	PT	(0)	7

日川クラブ（山梨） 13（5－7 8－4）11 岩国クラブ（山口）

得	【日川】		【岩国】	得
0	丸山	GK	広田	0
		GK		
7	梅木	FP	吉岡	3
2	石原は	（審・松尾・福田）	山口	1
2	古屋		折本	2
0	梅本		岩本	2
0	石原由		藤川	0
0	佐野		馬木	2
0	山下		広中	1
2	矢沢		黒元	0
			古賀	0
13	(2)	PT	(1)	11

○…立ち上がり、日川はポストプレー、ペナルティースローを決め有利にゲームを進めたが、岩国はロングシュート等でじりじり得点を重ね、前半終了前に逆転し7対5で終える。後半に入り、岩国は15分間無得点でパスミス等で日川が逆転す。一進一退のゲーム展開がくり広げられたが、走力に勝る日川が13対11で勝ちをものにした。

岩国に前、後半を通し、ラインクロスが多かったのが残念だった。（楠戸）

全青森（青森） 19（12－9 7－7）16 池田クラブ（徳島）

得	【青森】		【池田】	得
0	小沢	GK	加藤	0
		GK		
3	沼田	FP	山口	0
5	相馬	（審・佐久田・川島）	村上	0
1	高坂		赤野	3
0	渡部		岡	0
0	山田		川島	7
0	寺沢		矢野	1
8	木村		堤	1
0	船水		讃岐	4
2	柿崎		喜多	0
			大西	0
19	(3)	PT	(2)	16

○…前半、青森は早いパスワークからセットプレーで得点、前半の後半シュートが雑になり点差が縮まった。後半両チーム共速攻で着実に得点、後半の終り池田1点差まで追いついたが力及ばなかった。（浜野）

兵庫選抜（兵庫） 12（5－9 7－1）10 岩手桐花クラブ（岩手）

得	【兵庫】		【岩手】	得
0	西川	GK	斉藤	0
0	丸茂	GK	長沼	0
2	坂本	FP	松田	2
1	酒井	（審・南濤・佐伯）	大志田	0
3	清水		気仙	1
2	中里		川井	0
0	渡部		晴山	4
2	沢村		川村	0
0	市原		岩脇	0
0	井上		佐藤	0
0	尾上		工藤	3
2	大崎		畠山	0
12	(3)	PT	(1)	10

○…前半、兵庫はディフェンス悪く、岩手に9対5とリードを許した。

後半に入り、兵庫はディフェンスが良くなり、相手のミスを誘い速攻等で追いつき2点のリードを

し逃げきる。（村上）

島根クラブ（島根） 15（8—3、4—9、2—0、1—1）13 長崎クラブ（長崎）

	【島根】	得	【長崎】	得
GK	森広	0	森山	0
GK	小池	0	脇山	0
FP	吉岡	0	郡山	1
FP	松浦	0	戸田	2
FP	樋原	0	藤山	7
FP	福田	1	馬場	0
FP	佐々木	5	横落	1
FP	飯塚	4	久保	0
FP	田儀	4	大隅	0
FP	三原	1	中村	1
FP			木下	0
FP			中田	1

（審・中村 松原）

13（3） PT （1）15

○…前半4分過ぎまで両チーム共得点がなくゆっくりとした展開だったが、島根が、4分過ぎ先取点を取ってより小きざみに得点を重ね、5点のリードを得て前半を終了した。後半に入り長崎は連続得点の末、13分には同点に追いつき、その後相互に得点を取り合った。パスの正確性を欠いた島根は優位に進めながらも大切な場面でパスカットを許し、延長戦にもつれ込んだ。延長に入り、島根は長崎の藤山に1名つけて守り、攻めては田儀、佐々木、飯塚の挙げた3点を守り切った。（山代）

新潟江南高校OG（新潟） 20（9—0、11—5）5 高松南クラブ（香川）

	【新潟】	得	【高松】	得
GK	早川	0	斉藤	0
GK	熊倉	0	小原	0
FP	大沢	1	池田	4
FP	上野	5	佐藤由	0
FP	黒沢	4	中野	0
FP	伊藤	4	佐藤久	0
FP	伊勢	4	福家	0
FP	石山	0	藤井	0
FP	時田	1	秋山	1
FP	近藤	0	田島	0
FP	阿部	1		

（審・楠戸 船越）

5（1） PT （3）20

○…両チーム攻撃に決め手がなく、高松の凡ミスを拾っては得点に結びつけた新潟チームが有利に試合を進める。高松は最後までパスミスが多く、それをカットされては得点され自ら苦しい試合だった。得点差は開いたが実力的にはそう差はなかったと思う。（松尾）

滋賀クラブ（滋賀） 13（10—3、3—9）12 広島HFGクラブ（広島）

	【滋賀】	得	【広島】	得
GK	西村	0	上越	0
GK	武田幸	0	西村	0
FP	藤本陽	1	田中	0
FP	武田清	1	酒井	0
FP	金網	1	磯山	7
FP	辻	0	藤岡	3
FP	丸	0	高松	2
FP	井上	4	西村	0
FP	藤本昌	0	吉中	0
FP	上田	0	原田	0
FP	高橋	0	高橋	0
FP	藤本真	6	中川	0

（審・松尾 福田）

12（1） PT （0）13

○…前半広島は、④、⑤の速いパスと適確な判断で得点を重ねる。滋賀はゴール前でミスが多く得意な速攻ができなかった。後半は逆に広島がノーマークシュートミス、ポストへのパスミスが多く、滋賀の②、⑦の速攻で7連続得点で逆転する。

その後1点を争うゲームとなったが、最後は滋賀が走り勝った。（船越）

沖縄選抜（沖縄） 18（11—7、7—6）13 腕満会（岐阜）

	【沖縄】	得	【腕満】	得
GK	山里	0	佐藤	0
GK	上地	0	不破	0
FP	花城	9	加藤	6
FP	新垣	0	岡田	1
FP	新城	2	小林	0
FP	有銘	0	平光	0
FP	安元	0	都竹	5
FP	島田	0	望月	0
FP	仲村渠	1	鈴木	1
FP	仲村美	0	保谷	0
FP	中地	2	西堀	0
FP	嵩原	4	片桐	0

（審・楠戸 船越）

13（1） PT （6）18

○…腕満は⑥、⑦のロングシュート、沖縄はポストプレーとそれぞれ持味を生した攻撃でゲットを重ね、前半7対6と沖縄リードで終了。後半開始直後に岐阜は⑧、⑪両サイドの速攻で2点リードするが、脚力に一歩勝る沖縄のカットインに足がつかず連続ペナルティーをあたえリードを許す。その後も沖縄は⑪を中心としたカットインがさえゲームは沖縄ペースのまま、勝利の女神は沖縄にかがやいた。（福田）

千葉クラブ（千葉） 20（10—7、10—7）14 愛媛クラブ（愛媛）

	【千葉】	得	【愛媛】	得
GK	田中	0	近藤	0
GK	藤野	0	今村	0
FP	山田	7	秋山	2
FP	高橋	4	黒瀬	1
FP	松川	0	藤原	0
FP	佐瀬	2	田鍋	3
FP	井上	0	内海	2
FP	宮内	0	中山	4
FP	小林	3	井上	2
FP	桑代	4	吉川	0
FP	下川	0	宮本	0
FP			永易	0

（審・南濤 佐伯）

14（1） PT （3）20

○…前半から1～2点を争う接戦を展開し、後半15分すぎ、愛媛⑤の退場をきっかけに点差をひろげねばる愛媛をつきはなした。千葉は、もう一つ波にのれずに苦しみ、愛媛は1点差まで何度もつめよるが、同点にできず苦しんだ試合であった。（角田）

神埼クラブ（佐賀） 13（8—1、5—4）5 静岡城北クラブ（静岡）

	【神埼】	得	【静岡】	得
GK	嘉村	0	奥野	0
GK		0	立川	0
FP	川原	2	大山	1
FP	樋口	0	杉山	0
FP	重松	0	久保田	1
FP	実松	6	佐野	1
FP	今泉	0	稲葉	0
FP	西村	4	鈴木真	1
FP	江島	1	林	0
FP	羽立	0	鈴木さ	0
FP	野口	0	森	1
FP	古賀	0	鈴木明	0

（審・北山 浜野）

5（2） PT （1）13

○…前半神埼は、風上の利を生かし速攻を決め、又、⑤の個人技で着々と得点を重ね一方的に攻めた。後半は静岡も速攻とペナルティーで得点を重ねたが、前半の大差がそのまま神埼の有利な試合展開となり押し切った。（川島）

全和洋（秋田） 15（8—2、7—7）9 全福井（福井）

	【和洋】	得	【福井】	得
GK	堀井	0	山本	0
GK	金	0	河村	0
FP	角田	3	田中	0
FP	柴田	0	鈴木	2
FP	小松	1	北川	3
FP	北川	2	木村	1
FP	鎌田	1	安田	1
FP	寺村	2	朝賀	2
FP	石井	3	若林	0
FP	鈴木	3	長谷川	0
FP	菊地	0	前川	0
FP			青木	0

（審・船江 山代）

9（2） PT （1）15

○…両チームとも立ち上がりからかたさがみられ、カットオフェンスが多かったが得点になかなか結びつかなかった。GKもよく健闘し、13分間1対1の状態が続いたが、和洋はよく走り前半8対2で終了。後半和洋はカットディフェンスで速攻に結びつけ着々と得点を重ねていった。福井もディフェンスはかたく頑張ったが、和洋の走を生かした速攻で勝敗が決った試合であった。（松原）

▽2回戦

立石電機（熊本） 37（22—3、15—1）4 新潟江南高校OG

	【立石】	得	【新潟】	得
GK	井村	0	早川	0
GK	荒木	0	熊倉	0
FP	姫野	0	大沢	1
FP	桑原	0	上野	1
FP	近藤	5	黒沢	0
FP	岩村	9	伊藤	0
FP	藪田	3	伊勢	2
FP	江口	8	石山	0
FP	亀園	4	時田	0
FP	是枝	0	近藤	0
FP	喜久山	5	阿部	0
FP	橋口	3		

（審・常田 中森）

4（1） PT （8）37

○…立石電機は立ち上がりからレギュラー選手を投入し、8分には6対0とリード、その後は新人選手を入れかえてゲームを展開、スピードとパワーに優る立石は15対1とリード、後半に入っても立

フットワークはフォーメーションから生まれます。
だれが駆けても、

シティは、スポーツマン。

ライヴ・ビークル「シティ」

HONDA



シティのいちばんライヴな遊び友だちです。
トランクをガレージにしてしまった、
モトコンポは、トラバイ(トランクバイク)。

モトコンポ



石はスピードある展開で着々と加点、一方的な試合となった。新潟は⑤、⑥がなかなかよいプレーを見せていたのでもうひと工夫がほしかった。（佐伯）

神埼クラブ　25（15－3／10－5）8　全宮城（宮城）

得	【宮城】		【神埼】	得
0	遠藤	GK	嘉村	0
0	阿部	GK		0
0	小林淳	FP	川原	8
4	加賀谷	FP	樋口	1
1	小林康	FP	重松	0
1	佐藤	FP	実松	7
0	鈴木弘	FP	今泉	1
0	早坂	FP	西村	1
2	蜂屋	FP	江島	7
0	佐々木	FP	羽立	0
0	鈴木由	FP	野口	0
		FP	古賀	0
8 (1)		PT		(4) 25

（審・角田・村上）

○…立ち上がり、相方共に凡ミスが多かったが、落ち着いてからは走力、投力に優る神埼が着実にリードを重ねた。（常田）

日立栃木　26（16－2／10－4）6　兵庫選抜（栃木）

得	【兵庫】		【日立】	得
0	西川	GK	寺沢	0
0	丸茂	GK	葛生	0
0	坂本	FP	吉田	1
1	酒井	FP	水上	0
0	清水	FP	大高	4
1	中里	FP	大輪	6
0	渡部	FP	栗原	1
0	沢村	FP	小根沢	0
0	市原	FP	西山	0
0	井上	FP	土屋	2
0	尾上	FP	手打	3
4	大崎	FP	前田	9
6 (0)		PT		(3) 26

（審・島田・森）

○…開始直後、日立はパスカットからの速攻で先取点を取るが、兵庫も日立の甘いディフェンスをよく抜き中盤過ぎまでよく戦うが、終盤に至り、日立は得点を重ね、6点の差を得て前半を終了する。後半に入って、日立は一方的に攻め兵庫に攻め込むことを許さなかった。後半は攻守共に力の差を見せられた試合であった。しかしながら、兵庫の②の力強い動きと⑪の速く正確なシュートは見るべきものがあった。（山代）

滋賀クラブ　25（11－10／14－3）13　全神奈川（神奈川）

得	【神奈川】		【滋賀】	得
0	樋口	GK	西村	0
0	岡部	GK	武田幸	0
0	小林	FP	藤本陽	3
2	鈴木ふ	FP	武田清	2
0	三井	FP	金鋼	9
0	貝塚	FP	辻	1
2	宮崎	FP	丸	0
2	鈴木早	FP	井上	5
2	稲葉	FP	藤本昌	0
3	吉田	FP	上田	1
1	山本	FP	高橋	1
1	竹内	FP	藤本真	3
13 (2)		PT		(6) 25

（審・南濤・佐伯）

○…前半、神奈川は得点機にパスミスが目立ち得点にならず、滋賀は速攻中心に確実に点を重ね、④ポスト、⑦のロングで14対3で前半を終了。後半、神奈川もディフェンスの足がよく動くようになり、速攻も出だすが及ばず。（中川）

大崎電気　28（13－6／15－2）8　京都クラブ（埼玉）

得	【京都】		【大崎】	得
0	滝本	GK	梅野	0
0	田村	GK	藤田	0
2	秋田	FP	西	5
0	川崎	FP	陽田	3
3	矢野	FP	宮崎	4
0	榎崎	FP	石井	3
1	山戸	FP	渡部	3
0	成田	FP	徳渕	6
0	真部	FP	時実	1
2	多田	FP	嘉本	2
0	円山	FP	大日	1
0	中江	FP	塩谷	0
8 (2)		PT		(1) 28

（審・村上・角田）

○…立ち上がり、やや堅さの見られた大崎だが、走りを中心とした攻撃で実力通り勝ち進んだ。京都も②、④を中心に最後までよく健闘し、点差の割には引き締った試合であった。（中森）

大分HSクラブ　22（11－7／11－5）12　全青森（大分）

得	【青森】		【大分】	得
0	小沢	GK	中川	0
		GK		
0	沼田	FP	志水	0
4	相馬	FP	小野	0
2	高坂	FP	上居	0
0	渡部	FP	斉藤	4
0	山田	FP	穴見	3
0	赤沢	FP	大戸井	3
2	木村	FP	大塚	0
3	船水	FP	菅本	9
1	柿崎	FP	宮川	3
12 (2)		PT		(6) 22

（審・常田・中森）

○…青森はサイド攻撃で先行するが、大分もサイドから同点とする。その後大分は早いパスワークから得点を重ねる。青森もロングでたち向うも、大分のGKに好捕され、前半11対5で大分がリードして終る。後半、青森7対11ずい分とよく粘った。（村上）

東京重機　20（8－6／12－5）11　福岡市民クラブ（東京）

得	【福岡】		【東京】	得
0	梅谷	GK	橋本	0
0	光安	GK	深瀬	0
0	藤本	FP	中本	3
3	川波	FP	桜庭	0
1	福島	FP	香村	0
4	梅崎	FP	森田	2
2	坂本	FP	沖山	3
0	森川	FP	大前	5
0	宮島	FP	渡辺	2
0	臼井	FP	安田	5
1	松田	FP		
0	白川	FP		
11 (2)		PT		(3) 20

（審・船江・山代）

○…市民クラブの福岡と実業団の東京との対戦ではあったが、福岡はのびのびとしたプレーで内容的には東京を上まわるような試合であったが、シュート力の差が点差となった。（島田）

大和銀行　21（10－7／11－6）13　日川クラブ（大阪）

得	【日川】		【大和】	得
0	丸山	GK	春口	0
		GK	松本	0
6	梅本真	FP	鈴木	0
3	石原は	FP	若杉	3
1	古屋	FP	千原	0
0	梅本美	FP	中川	2
1	石原由	FP	馬渡	0
1	佐野	FP	門	0
0	山下	FP	川添	4
1	矢沢	FP	高橋	2
		FP	若水	8
		FP	秋成	2
13 (3)		PT		(3) 21

（審・南濤・佐伯）

○…立ち上がり、両チーム共ミスが多く、一進一退の苦しいゲー

冴えるパスワーク
君の勝利球

MIKASA
ミカサハンドボール



MGH2 ¥4,500(検定球)
MGH3 ¥4,600(検定球)

デザインが感触が新しい!

明星ゴム工業株式会社
広島・東京・大阪・名古屋・福岡

ム展開となったが、前半残り5分から大和は速攻で連続得点し、5点のリードをうばった。後半に入っても、大和は速攻で、日川は粘り強いセットプレーで得点し、激しくくいさがったが、スピードに勝る大和が勝つ。（奥田）

プラザー工業（愛知）40（21－3、19－2）5 宮崎クラブ

得	【宮崎】		【プ工】	得
0	大久保	GK	畑添	0
		GK	大薮	0
0	坂元	FP	小野	3
2	橋ノ口	FP	竹内	1
0	松岡	FP	赤井	7
2	西村	FP	中村	0
1	四位	FP	増永	3
0	中原	FP	太田	8
0	松本	FP	槇田	3
0	和田	FP	塩屋	4
		（審・船江 山代）	尾崎	0
			松下	11
5	（1）	PT	（6）	40

○…宮崎は③、を中心によく頑張ったが、力の差が違いすぎ、どうする事もできなかった。（島田）

北国銀行（石川）22（12－4、10－5）9 光電クラブ

○…前半北国は、③、⑧のカットプレーが得点機をつかみ速攻、ポストプレーと加点した。一方、光電クラブも日本リーグチームに対して良く健闘し得点した。後半も北国銀行は、速攻、ペナルティーで得点で重ね、懸命に追いすがる光電クラブを振り切った。光電

得	【光電】		【北国】	得
0	五十嵐	GK	辻	0
0	高橋左	GK	竹下	0
0	高橋敏	FP	河原	2
1	大手	FP	八木	11
4	土筆	FP	木内	0
0	松井	FP	中田	1
0	小林	FP	竹	1
1	山本	FP	山崎	0
0	林美	FP	藤田	4
0	田村	FP	丸山	3
3	吉沢	（審・竹村 柳原）	小玉	0
			川端	0
9	（4）	PT	（4）	22

クラブも頑張ったが、実力の差はどうしようもなかった。（川島）

日本ビクター（茨城）39（21－6、18－2）8 有磯高校OG（富山）

得	【有磯】		【日ビ】	得
0	水口	GK	渡辺	0
0	加納	GK	藤井	0
0	山岸	FP	染谷	2
6	辰野	FP	岩城	4
0	浜下	FP	村上	2
0	蓮間	FP	志村	11
0	山本	FP	中根	7
1	森田	FP	高光	3
0	林	FP	武藤	6
0	磯辺	FP	門脇	1
0	安井	（審・常田 中森）	長田	2
1	星場		池田	1
8	（2）	PT	（5）	39

○…実力の差をみせつけ、有磯の奮戦空しく、ビクターの軍門にくだった。有磯はディフェンスも荒くなり再三の退場者を出すなど苦しい展開だった。（角田）

千葉クラブ 29（14－6、15－7）13 米沢女高OG会（山形）

○…お互いにクラブチームの対戦で前半10分まで6対6の接戦で

得	【米沢】		【千葉】	得
0	佐藤浩	GK	田中	0
0	内山	GK	藤野	0
6	重野	FP	山田	9
0	高橋	FP	高橋	9
0	坂田	FP	松川	4
0	安部	FP	佐瀬	3
4	佐村	FP	井上	0
3	伊藤	FP	宮内	1
0	本間	FP	小林	3
0	梅津	FP	桑代	0
0	須貝	（審・森 島田）	下川	0
0	佐藤貴			
13	（1）	PT	（6）	29

あったが、体力にまさる千葉が徐々に点差を開く。後半、千葉は速攻とカットインで米沢を完全に圧倒した。最後まで善戦した山形チームの頑張りも立派だった。（船江）

ジャスコ（三重）18（7－2、11－1）3 全和洋

得	【和洋】		【ジャ】	得
0	堀井	GK	矢部	0
0	金	GK	木村	0
0	角田	FP	辻本	0
0	柴田	FP	寺沢	4
0	小松	FP	重村	0
0	北川	FP	若林	1
1	鎌田	FP	横山	2
1	寺村	FP	松岡	2
1	石井	FP	今里	3
0	鈴木	FP	鷲野	2
0	菊地	（審・川島 佐久田）	仲田	1
			石田	3
3	（0）	PT	（2）	18

○…ジャスコは立ち上がり、少し硬さがあったが、速攻、セット攻撃などを主体に、日本リーグの地力を見せつけ完勝した。（柳原）

ムネカタ（福島）30（15－5、15－3）8 沖縄選抜

得	【沖縄】		【ムネ】	得
0	山里	GK	清中	0
0	上地	GK	岩瀬	0
0	花城	FP	広田	3
0	新垣	FP	岡部	2
0	新城	FP	吉田	7
0	有銘	FP	小林	4
0	安元	FP	石田成	0
1	島田	FP	大河原	4
1	仲村渠	FP	石田江	0
0	仲村美	FP	鈴木	3
1	中地	（審・奥田 中川）	佐藤	7
5	高原		水野	0
8	（1）	PT	（5）	30

○…立ち上がりムネカタは、沖縄選抜のパスミスを生かし、速いパスワークと足を使い⑩のサイドよりすばらしい2段シュートを決め、前半15対3と一方的にリードする。後半に入り、前半と同じようなペースでムネカタの一方的な試合となった。本年度行なわれる入替戦に於てムネカタの活躍が期待される。（南濤）

島根クラブ 14（4－6、10－6）12 高知クラブ（高知）

得	【高知】		【島根】	得
0	中川	GK	森広	0
		GK	小池	0
1	松崎	FP	吉岡	1
1	野々宮	FP	松浦	0
0	田元	FP	樋原	2
2	大崎	FP	福田	4
0	井上	FP	佐々木	1
1	平野	FP	飯塚	2
1	久家	FP	田儀	3
1	勝山	FP	三原	1
5	細木	（審・川島 佐久田）		
0	中平			
12	（1）	PT	（1）	14

○…前半、島根⑤のジャンプシュートを軸に、よく走って10対6。後半、高知は⑩のカットインなどからよく粘り、15分過ぎに逆転、しかし、その後、地元の声援をうけた島根が、GK交代からムードに乗り逆転勝ちした。（竹村）

オール鹿児島（鹿児島）19（9－8、10－5）13 釧路商高OG（北海道）

得	【釧路】		【鹿児島】	得
0	中沢	GK	和田	0
		GK	鎌田	0
0	佐々木	FP	松本	3
0	遠藤	FP	加治木	1
3	小笠原	FP	末広	0
9	斉藤	FP	中原	5
1	関	FP	川原	5
0	豊岡	FP	河村	4
0	木村	FP	図師	0
0	出雲	FP	永山	1
0	岡本	（審・竹村 柳原）	山之内	0
			中村	0
13	（4）	PT	（2）	19

○…鹿児島は、⑥を軸にセットで得点をあげる。釧路も善戦したが、守りの甘さとシュートミスがめだった試合だった。（佐久田）

▽3回戦

立石電機 27（14－3、13－5）8 滋賀クラブ

得	【滋賀】		【立石】	得
0	西村	GK	井村	0
0	武田幸	GK	荒木	0
1	藤本陽	FP	姫野	0
1	武田清	FP	桑原	2
2	金綱	FP	近藤	1
0	辻	FP	岩村	4
0	丸	FP	藪田	5
3	井上	FP	江口	0
1	藤本昌	FP	亀岡	6
0	上田	FP	是技	0
0	高橋	（審・船江 山代）	喜久山	7
0	藤本真		橋口	2
8	（2）	PT	（4）	27

○…立ち上がり、滋賀GKの好守によりしぶとく食い下がったが、地力にまさる立石の足に、次

株式会社デサント



いくつもの勝利をかさねて、神話が生まれた。

世界のビッグゲームで、幾多のドラマを生んできたアディダス「ハンドボールウェア」。スポーツ科学に裏づけされた機能性。むだな飾りを排したアクションのためのデザイン。だから、鍛えぬかれた肉体であるほど、それは美しい。

アディダスハンドボール専用ウェア

adidas®
HANDBALL WEAR
PRODUCED BY DESCENTE UNDER ADIDAS LICENSE

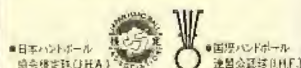
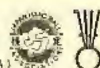
molten



MT3　検定1.3号
●検定球●天然皮革



ごらんください 独特のリブ形状とパネル間段差。この"32面体ノンスリップ構造"で確かな手がかりをつくりだしたモルテンハンドボールは、さらにナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現して、日本ではじめて国際ハンドボール連盟(I.H.F.)公認を獲得。ハンドボーラーの圧倒的な人気と信頼を集めています。

●日本ハンドボール協会検定球(J.H.A.)　●国際ハンドボール連盟公認球(I.H.F.)

モルテン
ハンドボール

モルテンゴム工業株式会社
本社　広島市西区横川新町1番8号〒733
☎(082)292−1381代

「手がかり」が、見えた！

独自の32面体
ノンスリップ構造で、圧倒的人気を誇るモルテンハンドボール

第にかきまわされて、点差をひらかれた。（中村）

大崎電気 23（10－4、13－5）9 大分HSクラブ

得	【大崎】		【大分】	得
0	梅野	GK	中川	0
0	藤田	GK		
3	西	FP	志水	0
4	陽田	FP	小野	0
0	宮嶋	FP	土居	0
4	石井	FP	斉藤	1
0	渡部	FP	穴見	2
1	徳渕	FP	大戸井	0
1	時実	FP	大塚	0
3	嘉木	FP	菅本	2
2	大日	FP	宮田	4
5	塩谷	FP		
23	(4)	PT	(2)	9

（審・川島、佐久田）

○…大崎は、③、⑤を中心に速い動きで着々と加点する。一方大分は、走力、シュート力ともにやや弱く、守ってもつめがあまく、攻守ともにかなりの差がある苦しいたたかいであったが、最後まであきらめずよくたたかった。（東）

ジャスコ 32（16－3、14－3）6 オール鹿児島

得	【ジャ】		【鹿児島】	得
0	矢部	GK	和田	0
0	木村	GK	鎌田	0
0	辻本	FP	松本	0
7	寺沢	FP	加治木	0
3	重村	FP	末広	0
0	若林	FP	中原	1
0	横山	FP	川村	2
2	松岡	FP	河原	1
4	今里	FP	図師	0
5	鷲野	FP	永山	2
6	仲田	FP	山之内	0
5	石田	FP	中村	0
32	(10)	PT	(0)	6

（審・東、中本）

○…開始3～4分、宮様観戦に両チーム共ややかたくなり得点にならなかったが、ジャスコが4分過ぎ③の速攻が決まるとたて続けに得点、⑧の好判断で速攻、セットプレーで加点し、日本リーグの実力どおり試合を展開して、鹿児島を突き離した。鹿児島は⑥、⑦のロングを完封され得点にならず、後半もジャスコの速攻がさえ一方的なゲームだった。（川島）

日立栃木 18（9－4、9－7）11 東京重機

得	【日立】		【東京】	得
0	寺沢	GK	橋本	0
0	葛生	GK	深瀬	0
4	吉田	FP	中本	0
0	水上	FP	桜庭	0
0	大高	FP	呑村	0
2	大輪	FP	森田	0
1	栗原	FP		
5	小根沢	FP	沖山	1
0	西山	FP	大前	3
0	土屋	FP	渡辺	1
2	手打	FP	安田	6
4	前田	FP		
18	(1)	PT	(4)	11

（審・常田、中森）

○…お互いに知りつくした対戦で、どちらのチームがどこでぬけ出すか期待されていたが、後半の立ち上がり日立がぬけ出し、あとは有利にゲームを進める。東京も必死にねばるも及ばず。（松尾）

ブラザー工業 22（15－3、7－6）9 千葉クラブ

○…ブラザーは押し気味に試合を進めながらも、ノーマークのシュートミス、ポストへのパスのカット等で得点を重ねる事が出来ず、これに対して千葉は粘りのある守りでチャンスを得点に結びつけ、一時は7対3とされたが、前

得	【ブ工】		【千葉】	得
0	畑添	GK	田中	0
0	大薮	GK	藤野	0
0	小野	FP	山田	1
3	竹内	FP	高橋	3
1	赤井	FP	松川	3
0	中村	FP	佐瀬	0
7	増永	FP	井上	0
2	大田	FP	宮内	0
3	植田	FP	小林	2
1	塩屋	FP	桑代	0
4	長崎	FP	下川	0
1	松下	FP		
22	(1)	PT	(0)	9

（審・中村、松原）

半終盤にうまく攻め7対6と1点差まで追い上げる。後半に入ると、ブラザーは力の差を見せ連続得点を挙げ一気に差を広げた。千葉の前半の善戦に比べ、ブラザーの攻めの荒さが目についた。（山代）

日本ビクター 29（15－8、14－5）13 神埼クラブ

得	【日ビ】		【神埼】	得
0	渡辺	GK	嘉村	0
0	藤井	GK		
0	染谷	FP	川原	3
4	岩城	FP	樋口	4
2	村上	FP	重松	0
6	志村	FP	実松	2
5	中根	FP	今泉	0
5	高光	FP	西村	0
4	武藤	FP	江島	3
0	門脇	FP	羽立	0
3	長田	FP	野口	1
0	池田	FP	古賀	0
29	(5)	PT	(1)	13

（審・竹村、柳原）

○…日本リーグの日本ビクターに対し、神埼は一歩もひけをとらないで堂々と相対し、思い切りのよいシュート等で得点し、最後まで頑張ったものの、相手の速攻についてゆけず点差の開いたゲームであった。（島田）

北国銀行 27（15－6、12－3）9 島根クラブ

得	【北国】		【島根】	得
0	辻	GK	森広	0
0	竹下	GK	小池	0
9	河原	FP	吉岡	0
7	八木	FP	松浦	0
0	木内	FP	樋原	0
6	中田	FP	福田	1
1	竹	FP	佐々木	1
0	山崎	FP	飯塚	0
2	藤田	FP	田儀	2
0	丸山	FP	三原	5
0	小玉	FP		
2	川端	FP		
27	(3)	PT	(2)	9

（審・島田、森）

○…前半、北国は力の強い確実なシュートで徐々に得点差を広げ12対3の圧勝のうちに試合を進め、後半の島根の反撃に期待した。島根は地元の声援をうけ反撃を開始したが、北国のペースをなかなか変える事が出来ず大差で終った。島根の最後までのくいつきも素晴らしかった。（竹村）

大和銀行 22（13－6、9－9）15 ムネカタ

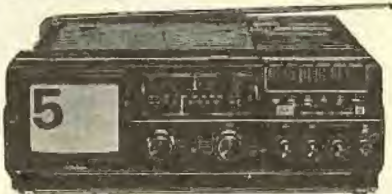
得	【大和】		【ムネ】	得
0	春口	GK	清水	0
0	松本	GK	岩瀬	0
2	鈴木	FP	広田	0
6	若杉	FP	岡部	4
1	千原	FP	吉田	0
6	中川	FP	小林	6
0	馬渡	FP	石田成	4
0	門	FP	大河原	1
0	川添	FP	石田江	0
1	高橋	FP	鈴木	0
4	若水	FP	佐藤	0
2	秋成	FP	水野	0
2	(0)	PT	(2)	15

（審・福田、松尾）

○…実力追仲した両チームで、ムネカタは⑥、大和は③の好シュ

うちのエース、背番号50。

基本に忠実な選手ほど、臨機応変に動けるものです。基本性能に優れたメカがフォーメーションを組んだ、ビクターのカラカセ50。〈見る・聞く・録る〉を一台でやってのけるマルチプレーヤー。カラーになった1機3役メカです。



カラーテレビ・ラジオ・カセッター
カラカセ50
CX-50 標準価格110,000円
（アンテナ・工事費別）

●ビクターへのお問い合わせ、カタログ請求は(〒100)東京都千代田区霞が関3-2-4霞山ビル 日本ビクター(株)インフォーメーション・センター〈TEL東京 03-580-2861〉へ ●あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

Victor JVC
日本ビクター株式会社

ートで前半9対9の同点で終了した。後半に入って、ややプレーの雑になったムネカタのシュートミス、パスミスを大和は速攻などで7点連取し、10分すぎには17対10とリードした。その後、ムネカタも速攻、サイドシュートで得点したが、点差を縮めることが出来なかった。（中森）

▽準々決勝

ジャスコ 23（12―10 11―9）19 北国銀行

得	【北国】		【ジャ】	得
0	辻	GK	矢部	0
0	竹下	GK	木村	0
1	河原	FP	辻本	3
7	八木	FP	寺沢	9
0	木内	FP	亀村	2
2	中田	FP	若村	0
3	竹	FP	横山	4
0	山崎	FP	松岡	3
6	藤田	FP	今里	0
0	丸山	FP	鷲野	1
0	小玉	FP	仲田	0
0	川端	FP	石田	1
19 (1)		PT		(5) 23

（審・東、中本）

○…ジャスコは、立ち上がり北国の守りをつき3点連取したが、北国はGK辻がよく守り、そのリズムで次第に挽回、サイド攻撃などで着々と点を取って、前半11対9と、僅差のジャスコのリードで終了した。

後半に入るとお互い点の取り合いとなり、北国は14分、23分と1点差にまで迫るが追いつくことが出来ず、逆にジャスコのカットイン、サイド攻撃を許して敗れた。（佐久田）

プラザー工業 20（9―11 11―8）19 日立栃木

得	【日立】		【プエ】	得
0	寺沢	GK	畑添	0
0	葛生	GK	大藪	0
2	吉田	FP	小野島	0
0	水上	FP	竹内	2
4	大高	FP	赤井	0
2	大輪	FP	中村	1
4	栗原	FP	増永	4
0	小根沢	FP	太田	0
0	西山	FP	植田	8
0	土屋	FP	塩屋	1
0	手打	FP	尾崎	1
7	前田	FP	松下	3
19 (4)		PT		(5) 20

（審・島田、森）

○…立ち上がり栃木が先行し、愛知が15分すぎ同点に追いつき、その後、増永の活躍でリードし11対8で愛知が前半をおさえた。後半は、1点を争う好ゲームとなり、ラスト3分に愛知が2点リードし、栃木がペナルティーで1点差まで追いあげたが、力及ばなかった。（柳原）

大崎電気 24（10―8 14―8）16 日本ビクター

得	【日ビ】		【大崎】	得
0	渡辺	GK	梅野	0
0	藤井	GK	藤田	0
2	染谷	FP	西	10
2	岩城	FP	陽田	5
2	村上	FP	宮嶋	1
3	志村	FP	石井	5
1	中根	FP	渡部	1
3	高光	FP	徳渕	2
3	武藤	FP	時実	0
0	門脇	FP	嘉木	0
0	長田	FP	大日	0
0	池田	FP	塩谷	0
16 (1)		PT		(2) 24

（審・川嶋、佐久田）

○…大崎は立ち上がり②のロングシュートを軸に速い動きで日ビのディフェンスをずらし、サイド、ポストなどで加点する。これに対し、日ビも足を使い攻撃するが、シュートがゴールポストに当ったり、相手GKの好守に阻まれてなかなか得点出来ない。後半に入っても大崎はロング、ポスト、サイドなど多彩な攻撃で加点する。日ビも健闘はするが、シュートを狙いすぎ、ゴールポストに当るのが多く、差をつめきれなかった。（中本）

立石電機 24（8―8 16―7）15 大和銀行

○…前半立ち上がり大和は2点リードしてゲームは盛り上がったが、10分過ぎからミスが続き、連続して立石に速攻を決められ、点差をつけられた。

立石はロングシュートと速攻で

得	【大和】		【立石】	得
0	春口	GK	井村	0
0	松本	GK	荒木	0
1	鈴木	FP	姫野	1
3	若杉	FP	桑原	2
0	千原	FP	近藤	4
2	中川	FP	岩村	7
0	馬渡	FP	藪田	4
0	門	FP	江口	0
4	川添	FP	亀園	1
1	高橋	FP	是枝	0
0	若水	FP	喜久山	3
4	秋成	FP	橋口	2
15 (7)		PT		(3) 24

（審・竹村、柳原）

前半で勝負を決め後半は若手を使う余裕を見せた。（島田）

▽準決勝

立石電機 16（11―3 5―8）11 大崎電気

○…前半立ち上がり大崎のペースで20分過ぎまで7対1とリードする。

一方、立石は7分1点目から16分間1ゴールであったが、ようや

得	【大崎】		【立石】	得
0	梅野	GK	井村	0
0	藤田	GK	荒木	0
2	西	FP	姫野	0
2	陽田	FP	桑原	1
0	宮嶋	FP	近藤	5
3	石井	FP	岩村	1
0	渡部	FP	藪田	6
3	徳渕	FP	江口	1
0	時実	FP	亀園	0
0	嘉木	FP	是枝	0
1	大日	FP	喜久山	2
0	塩谷	FP	橋口	0
11 (1)		PT		(1) 16

（審・東、中本）

く速攻が出始めて4点連取、5対8と追い上げたところで前半終了した。

後半に入ると立石は一気に4点連取、10分過ぎに9対8とみごとに逆転した。

その後、2度も同点に追いつかれたが、突き離し、結局、16対11で勝利を収める。

大事なところで立石④の好シュートが光った。（古富）





<上>大崎―日本ビクター戦ビクター志村のシュート。<下>立石―大和戦大和のシュートを阻止する立石の喜久山

ジャスコ 24（8－15　16－6）21 プラザー工業

得	【ジャ】		【プエ】	得
0	矢部	GK	畑添	0
0	木村	GK	大薮	0
5	辻本	FP	小野島	0
7	寺沢	FP	竹内	6
2	重村	FP	赤井	0
0	若林	FP	中村	1
4	横山	FP	増永	8
3	松岡	FP	太田	0
0	今里	FP	植田	4
3	鷲野	FP	塩屋	0
0	仲田	FP	尾崎	1
0	石田	FP	松下	1
24	(2)	PT	(1)	21

（審・中所　古富）

○…前半ジャスコにシュートミスが多く、その間をついて愛知が得点し、7点リードで終了。後半に入りジャスコの動きが激しくなり、又、GKの好守もあり、速攻などで12分同点、16分には逆転した。その後も速攻で得点を重ね逃げ切った。（中木）



準決勝ジャスコ対プラザー戦，ジャスコ寺沢のシュート

▽**3位決定戦**

大崎電気 18（6－8　12－9）17 プラザー工業

○…前半、大崎は幸先よく先行するもパスミスが多く、23分頃にはプラザーに逆転を許し、2点差で後半へつなげた。後半にはいると、大崎はミスが少なくなり、12分には同点、そして14分には逆転し、その後、常に先手をとり1点差のゲームをものにした。互いに持味をよく出し、プラザーは切り込んでからの得点、大崎はカットインからミドルシュートと、味のあるプレーをみせた好ゲームであった。（角田）

得	【プエ】		【大崎】	得
0	畑添	GK	梅田	0
0	大薮	GK	藤田	0
0	小野	FP	西	7
4	竹内	FP	陽田	1
0	赤井	FP	宮嶋	2
1	中村	FP	石井	4
4	増永	FP	渡部	3
0	太田	FP	徳渕	1
2	植田	FP	時実	0
1	塩屋	FP	嘉木	0
5	尾崎	FP	大日	0
0	松下	FP	塩谷	0
17	(2)	PT	(4)	18

▽決勝

ジャスコ 25（9－6　16－6）12 立石電機

得	【立石】		【ジャ】	得
0	井村	GK	矢部	0
0	荒木	GK	木村	0
0	姫野	FP	辻本	6
5	桑原	FP	寺沢	7
1	近藤	FP	重村	2
4	岩村	FP	若林	1
0	薮田	FP	横山	1
1	江口	FP	松岡	6
1	亀園	FP	今里	1
0	是技	FP	鷲野	0
0	喜久山	FP	仲田	0
0	橋口	FP	石田	1
12	(3)	PT	(2)	25

○…ジャスコは好調なスタートを切った。立石の遅れ気味のディフェンスに、サイド、ロング、ポスト攻撃とバラエティに富む攻撃を見せた。

立石はジャスコの厚いディフェンスを攻めあぐみ差を広げられる一方であったが、前半20分過ぎよりミスの目立ち始めたジャスコを追い上げた。

ジャスコは後半に入り素晴らしい走りを見せた。立石のシュートからの速攻、パスカットからの速攻などで、全く立石を寄せつけなかった。

攻撃の時間はジャスコが短かくさえ感じた。ジャスコのスピードの勝利である。（山代）



決勝戦ジャスコ戦対立石電機，立石・岩村のシュート

テーマは「人間と機械」
OMRON

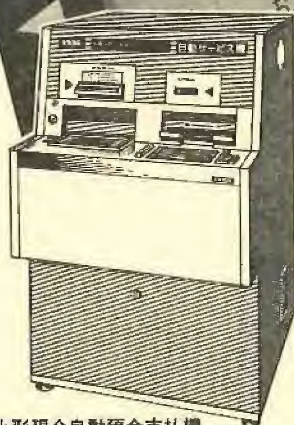


人間と機械との対話。

機械化、無人化がすすみ、人間と機械との関わりあいが深まるにつれ、より扱いやすく、より親切な機械の開発が望まれてきました。目から、耳から、人間との対話をはかろうとする試みがそれです。

すっかりおなじみになった銀行の機械化コーナー。そこでは、CRTを採用した操作案内で、きめ細かなメッセージをおとどけしている支払機や預金機が。レストランでは、表示・レシートをもカナ文字ででてくる電子レジスタが…。

このように、オムロンは"人間と機械との対話"を推し進めながら、その新しい歴史をつくっています。



OMRON小形現金自動預金支払機

預金・支払・両替・記帳・残高照会…など、
目的にあわせて、CRTでわかりやすく操作案内。
だれもが間違いなくスムーズに使いこなすことができます。



OMRON電子レジスタ591-IRC

価格だけでなく、カナ文字で品名をも表示、
さらにレシートにも同じカナ文字で印字。
明瞭で気もちよい会計が行なえます。



立石電機株式会社
〒616京都市右京区花園土堂町10
TEL075(463)1161大代

少年男子

▽1回戦

全福島 18（9－4、9－10）14 北海道選抜
（福島）　（北海道）

得	【北海道】		【福島】	得
0	岩上	GK	南条	0
0	寺沢	GK	吉田	0
1	無量林	FP	関根	0
1	柴田	FP	遠藤	1
4	茂木	FP	岡部弘	4
0	川口	FP	大竹	0
4	久保田	FP	岡部敬	1
0	鎌田	FP	鎌田	3
0	酒井	FP	鈴木	0
2	堤口	FP	吉津	8
1	佐藤	FP	近藤	1
1	豊野	FP	橋元	0
14 (4)		PT		(5) 18

（審・奥田 中川）

○…立ち上がり北海道のペースであったが、福島が次第に速攻をくり出し逆転、前半で差がついた。後半に入り北海道ももり返したが前半の差が最後までひびいた。（常田）

新居浜工高 19（9－8、10－10）18 氷見高
（愛媛）　（富山）

○…立ち上がり富山が2点連続得点しペースに乗るかに見えたが愛媛は速攻とうまいポストプレーで得点し、1点を争う好ゲームとなった。得半に入っても激しいシーソーゲームとなったが、愛媛が前半のリードを守り切って緒戦をものにした。（奥田）

得	【氷見】		【新居浜】	得
0	桜打	GK	鈴木	0
0	山田	GK	山脇	0
0	大石	FP	滝本	3
3	林	FP	真砂	4
4	彭	FP	山本	4
0	大伴	FP	毛利	1
8	前山	FP	佐伯	0
0	吉木	FP	今村	4
1	堀川	FP	岩崎	3
0	北山	FP	田村	0
0	山本	FP	伊藤	0
2	岩上	FP	真木	0
18 (5)		PT		(1) 19

（審・常田 中森）

大阪選抜 27（10－10、17－12）22 山口選抜
（大阪）　（山口）

得	【大阪】		【山口】	得
0	村林	GK	谷	0
0	徐	GK	藤井	0
5	高木	FP	前田	2
6	杉森	FP	橋本	9
1	山田	FP	山本	4
4	池田	FP	兼重	0
2	岸田	FP	白坂	2
0	篠島	FP	広島	0
3	阿部	FP	平野	2
3	大塚	FP	森川	0
1	山村	FP	中本	2
2	橋本	FP	島里	1
27 (3)		PT		(4) 22

（審・奥田 中川）

○…前半の立ち上がり大阪ペース、中盤から山口ペースの展開となり、10対10の同点で前半を終了した。後半に入って大阪2点リードし、ペースをつかんだかに見えたが、山口は③のロングで追いつき逆転した。しかし、15分過ぎ大阪も③の好リード、好シュートで再逆転、そのまま逃げ切った。終盤、山口にややミスが出て点差はついたが好ゲームであった。（中森）

▽準々決勝

福岡選抜 23（9－8、14－9）17 全福島
（福岡）

得	【福岡】		【福島】	得
0	橋本	GK	南条	0
0	中村	GK	吉田	0
3	片山	FP	関根	0
2	中村	FP	遠藤	1
0	野田	FP	岡部弘	4
1	田中	FP	大竹	0
2	千綿	FP	岡部敬	1
7	馬場	FP	鎌田	4
2	坂田	FP	鈴木	0
3	高須	FP	吉津	5
2	有村	FP	近藤	2
1	永延	FP	橋元	0
23 (0)		PT		(0) 17

（審・楠戸 船越）

○…前半福島が2点先取、更に3分半にペナルティーを得た。しかしこれを失敗、ここから流れが福岡に傾いた。9分半には速攻から逆転、福島も食い下がったが、9対8と福岡リードで前半終了。後半に入ると福岡は多彩なシュートで得点を重ね、余裕のある試合運びで勝利を収める。（古富）

島根選抜 24（11－10、13－9）19 沖縄選抜
（島根）　（沖縄）

○…前半、沖縄のポストプレー、スカイプレ、島根のカットイン、サイドシュートとお互いに特長を出し合って1点を争う緊張したゲーム展開だった。後半10分過ぎに⑥のフェイントシュート、⑤のループシュートなどで島根が3点差にする。沖縄も④のロングシュートで加点するが及ばなかった。島根・神谷のスピードあるフェイント、冷静な好リードがさわやかだった。（船越）

得	【沖縄】		【島根】	得
0	伊集	GK	家迫	0
0	平安山	GK	石山	0
3	新垣	FP	山本	6
0	崎浜	FP	田中祐	0
4	渡具知	FP	中城	0
1	島袋	FP	石田	5
2	大嶺	FP	神谷	7
0	玉城	FP	広江	3
0	田仲	FP	野津	1
3	親泊	FP	堀越	1
4	名嘉	FP	石原	0
2	仲田	FP	田中秀	1
19 (2)		PT		(5) 24

（審・中所 古富）

愛知選抜 23（12－10、11－11）21 新居浜工高
（愛知）

得	【新居浜】		【愛知】	得
0	鈴木	GK	久野	0
0	山脇	GK	菅沼	0
2	滝本	FP	櫛田	3
7	真砂	FP	岡田	3
2	山本	FP	堀江	4
3	毛利	FP	濱田	6
0	佐伯	FP	木下	0
6	今村	FP	大谷	0
1	岩崎	FP	佐竹	4
0	田村	FP	酒井	3
0	伊藤	FP	壁谷	0
0	真木	FP	平松	0
21 (3)		PT		(0) 23

（審・楠戸 船越）

大阪選抜 20（7－11、13－8）19 明星高
（東京）

○…前半、大阪は攻撃の歯車が合わず、パスミス、シュートミスが続き、それを東京は得意の速攻を重ね、11対7で前半を終える。後半の東京の⑥がマンツーマンでつかれてから大阪がじりじり加点し、20分には18対18の同点となり両GKの好守により1点を争う好ゲームとなった。結局追い上げムードの大阪が僅か1点差で勝ちをものにした。（楠戸）

得	【明星】		【大阪】	得
0	宇田川	GK	村林	0
0	沼口	GK	徐	0
4	桜井	FP	高木	1
1	沢田	FP	杉森	4
1	北沢	FP	山田	0
5	篠	FP	池田	5
6	部司	FP	岸田	2
2	目黒	FP	篠島	0
0	小柳	FP	阿部	0
0	浜川	FP	大塚	8
0	佐藤	FP	山村	0
0	滝瀬	FP	橋本	0
19 (1)		PT		(2) 20

（審・中所 古富）



▽準決勝

福岡選抜 30（18－12、12－9）21 島根選抜

【島根】	得		【福岡】	得
家迫	0	GK	橋本	0
石山	0	GK	中村竜	0
山本	2	FP	片山	4
田中祐	0	FP	中村秀	4
中城	1	FP	野田	3
石田	4	FP	田中	3
神谷	6	FP	千綿	1
広江	4	FP	馬場	8
野津	1	FP	坂田	1
堀越	1	FP	高須	3
石原	1	FP	有村	2
田中秀	1	FP	永延	1
PT	(3) 21	（審・楠戸、船越）	PT	30 (1)

○…前半は共に持ち味をみせ点を取り合うが、速攻、ポストで着実な得点を重ねる福岡が3点リードした。後半は、前半島根GKに上を殺され得点とならなかったカットインをGKの下に集め、着実に得点を重ね勝利した。島根はつめの甘さが目立ち、又、ディフェンスの弱さなどで負けはしたが、強豪相手によく健闘した。（苗田）


準決勝の愛知の浜田のポイントゲッターぶり

愛知選抜 25（10－14、15－8）22 大阪選抜

【愛知】	得		【大阪】	得
久野	0	GK	村林	0
菅沼	0	GK	徐	0
櫛田	3	FP	高木	5
岡田	6	FP	杉森	5
堀江	3	FP	山田	1
濱田	5	FP	池田	3
木下	0	FP	岸田	2
大谷	0	FP	篠島	0
佐竹	3	FP	阿部	0
酒井	4	FP	大塚	5
壁谷	0	FP	山村	0
平松	1	FP	橋本	1
PT	(1) 25	（審・角田、村上）	PT	22 (2)


3位決定戦・島根を破った大阪の攻撃

▽3位決定戦

大阪選抜 24（12－12、12－10）22 島根選抜

【島根】	得		【大阪】	得
家迫	0	GK	村林	0
石山	0	GK	徐	0
山本	4	FP	高木	2
田中祐	0	FP	杉森	9
中城	2	FP	山田	1
石田	3	FP	池田	4
神谷	3	FP	岸田	1
広江	3	FP	篠島	0
野津	5	FP	阿部	0
堀越	0	FP	大塚	6
石原	1	FP	山村	1
田中秀	1	FP	橋本	0
PT	(4) 22	（審・奥田、中川）	PT	24 (5)

○…前半、接戦であったが、島根はペナルティー2本をはずし、12対10と大阪有利で折り返す。後半は大阪が着実に得点を重ね差を広げた。終盤島根も懸命に反撃を見せたが、遅かった。（船江）

▽決勝

福岡選抜 23（9－7、14－9）16 愛知選抜

【愛知】	得		【福岡】	得
久野	0	GK	橋本	0
菅沼	0	GK	中村竜	0
櫛田	1	FP	片山	3
岡田	4	FP	中村秀	6
堀江	1	FP	野田	1
濱田	6	FP	田中	0
木下	0	FP	千綿	4
大谷	0	FP	馬場	1
佐竹	0	FP	坂田	0
酒井	3	FP	高須	3
壁谷	1	FP	有村	4
平松	0	FP	永延	1
PT	(1) 16	（審・竹村、柳原）	PT	23 (1)

○…前半開始早々愛知は2点を先取し好調なスタートを切るが、福岡はゆっくりとした攻めからすぐに同点に追い着き、以後は1点を争う一進一退のゲームを展開する。前半の終盤、福岡は速攻とポスト攻撃で加点し、一気に5点差をつけて前半を終える。

後半開始直後、愛知は2連続得点をあげ追い上げムードを得たかに見えたが、福岡は③の得点より再び攻撃のリズムをつかみ、速攻ポスト攻撃、サイド攻撃など多彩な攻めで得点を重ね、守っては特にGK橋本の好守が光った。（山代）


福岡選抜は愛知の反撃を喰い止めて優勝

少年女子

▽１回戦

兵庫選抜 17（8－6、9－3）9 大曲農高
（兵庫）　（秋田）

得	【兵庫】		【大曲】	得
0	大西	GK	高階	0
0	橋本	GK	佐々木	0
2	西村	FP	田口	1
1	林	（審・島田 森）	下馬	0
4	西渕		後藤	3
3	上西		小野寺	2
1	増田		金下	2
0	池田		進藤	1
0	西口		佐藤	0
2	植田		高橋	0
3	高岡		小田島	0
1	定森			
17 (1)		PT		(2) 9

○…立ち上がりから両チームともよく走りシーソーゲームとなるが、後半に入って、多彩なプレーをくり出す兵庫に対しロングとサイド攻撃中心の秋田は決定力がなく、次第に差が広がる。ペナルティースロー及びノーマークシュートをはずしたのも秋田の敗因となった。（古富）

熊本選抜 13（6－1、7－6）7 北海道選抜
（熊本）　（北海道）

得	【熊本】		【北海道】	得
0	前田	GK	米田	0
0	岩本	GK	小松	0
7	野嶋	FP	長谷川	3
0	田上	（審・中所 古富）	今野	1
0	田副		永友	0
0	米岡		米坂	0
0	押方		金子	2
1	落合		海道昭	0
1	田中		海道元	0
2	寄田		大谷	1
2	中野		村元	0
0	奥田		大釜	0
13 (4)		PT		(2) 7

○…前半、北海道は熊本の堅いディフェンスを破ることが出来ず1点に終わったが、後半はよく頑張った。熊本の総合力がやや上回ったものの、熊本もペナルティー多くはずし、前半の守りが勝因であった。（島田）

山口選抜 11（6－4、5－1）5 小松市立女子高
（山口）　（石川）

得	【山口】		【小松】	得
0	岩本	GK	新宅	0
0	野村	GK	柴田	0
3	岡崎	FP	山口	0
1	横田	（審・島田 森）	和田千	1
0	原山		和田陽	0
1	柳		丹後	0
4	恵良		米田	0
2	宇本		中嶋	2
0	片海		中川	2
0	中村		林	0
0	徳原		松下	0
0	田口		福田	0
11 (1)		PT		(1) 5

○…前半5分までに山口はサイドとペナルティーで上々の滑り出し。石川もミドルシュートを狙うが力弱く、ようやく8分に⑦がサイドから、11分にペナルティーで同点に。しかし、山口もサイドからのシュートなどで2点のリードで後半にもつれ込む。後半10分までに、山口は速攻とミドルシュート、石川はフリースローからとせり合ったが、山口は速攻とサイド攻撃を見せてふり切った。山口のディフェンスの堅さが目立った。（中所）

▽準々決勝

山梨選抜 12（4－3、8－6）9 兵庫選抜
（山梨）

得	【山梨】		【兵庫】	得
0	日原	GK	大西	0
0	北井	GK	県本	0
4	保坂	FP	西村	1
2	沼田	（審・中村 松原）	林	0
3	小菅		西渕	0
0	土橋		上西	2
1	小沢		増田	0
0	狄原		池田	2
0	南		西口	0
0	田辺		植田	2
0	早川		高岡	0
2	丸山		定森	2
12 (0)		PT		(1) 9

○…前半、山梨はセットプレーからロングシュート、サイドでの3対2を作り着実に得点したのに対し、兵庫は速攻もなく無理なロングシュートで自滅した。後半に入っても同様な展開となり終了した。（北山）

島根選抜 12（6－2、6－4）6 新居浜市立商高
（島根）　（愛媛）

得	【島根】		【新居浜】	得
0	平野	GK	山本	0
0	青砥	GK		
5	神庭	FP	阪上	1
2	安井	（審・北山 浜野）	池浦	1
0	安達		越智	1
0	藤川		岩田	0
0	大谷		高橋	3
4	松尾		中山	0
0	竹内		西山	0
1	山下		佐光	0
0	西田		近藤	0
0	久恒			
12 (1)		PT		(0) 6

○…初戦で島根はやや固さが目立ちパスワークが悪かったが、速攻で先前点をあげた。前半両チームとも攻撃が荒く得点に結びつかなかったが、走力に勝る島根が得点をあげ6対2で前半終了。後半新居浜もよく健闘したが、島根のディフェンスが堅く、シュートも阻まれ、力不足の感で6対12と敗れた。（松原）

愛知選抜 18（7－5、11－10）15 熊本選抜
（愛知）

得	【熊本】		【愛知】	得
0	前田	GK	田中	0
0	岩本	GK	畑中	0
6	野嶋	FP	森山	4
4	田上	（審・中村 松原）	石田	2
0	田副		稲垣	3
0	米岡		渡辺	0
0	押岡		高瀬	2
2	落合		長谷川	0
1	田中		奥村	0
2	寄田		近藤	6
0	中野		倉地	1
0	奥田		森	0
15 (3)		PT		(0) 18

○…前半両チームとも相手シュートミスから早い攻めで巧くパス回し得点に結びつけた。愛知が2点リードで終わったが、見ごたえのある好ゲームであった。後半に入り熊本が先行、1点差を争うシーソーゲームとなったが、終了7



大同特殊鋼

取締役社長　武田喜三

本社：名古屋市中区錦一丁目11－18(興銀ビル)
TEL名古屋(052)201-5111(大代表)〒460
支社：東京　支店：大阪

8分前から熊本のパスミスが目だち愛知の速攻を許した。愛知が体力、技術で一日の長。（北山）

広島選抜 11（4−8 7−2）10 山口選抜（広島）

得	【山口】		【広島】	得
0	岩本	GK	永岡	0
0	野村	GK	山本	0
0	岡崎	FP	石田	3
4	横田	FP	山田	0
0	原山	FP	山本	0
2	柳	FP	長谷部	0
3	恵良	FP	矢舗	2
1	宇本	FP	住田	0
0	片海	FP	猫本	0
0	中村	FP	矢田	1
0	徳原	FP	中嶋	4
0	田口	FP	藤中	1
10	(0)	PT	(1)	11

（審・北山 浜野）

○…お互いに手の内を知り尽した相手同士。前半、山口は足を使って一気にリードを奪ったものの後半に入ると逆に広島に走られ、15分には遂に逆転、広島は残り1分で2名の退場者を出し1点差につめ寄られたものの辛くも逃げ切った。（中村）

▽準決勝

山梨選抜 15（5−2 10−2）4 島根選抜

○…立ち上がり両チームともに動きが悪く、山梨のペナルティーで先制、その後両チームとも得点がなかったが10分島根がやはりペナルティーを決めて同点。11分に山梨ポストで加点、島根も16分にペナルティーを得たがこれをはずし、山梨5対2とリードで前半終了。後半に入ると山梨の足が動き出し着々と加点、15分には13対4と大差のリードで勝負を決めた。島根も地元の応援に頑張ったが、力の差はどうしようもなかった。（佐伯）

得	【山梨】		【島根】	得
0	日原	GK	平野	0
0	北井田	GK	青砥	0
5	保坂	FP	神庭	4
3	沼田	FP	安井	0
4	小菅	FP	安達	0
1	土橋	FP	藤川	0
2	小沢	FP	大谷	0
0	荻原	FP	松尾	0
0	南	FP	竹内	0
0	田辺	FP	山下	0
0	早川	FP	西田	0
0	丸山	FP	久恒	0
15	(3)	PT	(1)	4

（審・中所 古富）

愛知選抜 12（10−5 2−2）7 広島選抜

得	【愛知】		【広島】	得
0	田中	GK	永岡	0
0	畑中	GK	山本	0
4	森山	FP	石田	0
0	石田	FP	山田	2
1	稲垣	FP	山本	0
1	渡辺	FP	長谷部	0
0	高瀬	FP	矢舗	1
0	長谷川	FP	住田	0
0	奥村	FP	猫本	0
4	近藤	FP	矢田	1
1	倉地	FP	中嶋	3
1	森	FP	藤中	0
12	(2)	PT	(2)	7

（審・中所 佐伯）

○…立ち上がり広島は相手ミスをうまくつないで20秒にペナルティーを得て先制、10分には4対2とリードしたがその後攻撃が単調になり、そのすきをついて愛知は⑨、②のミドルと速攻、サイドと着々と加点、10対5とリードして前半を終了。後半に入ると広島は愛知⑨にマンツーマンをつけて失点を防ぐも自チームも攻撃のリズムが生まれず単調なゲームとなる。両チームのGKの好守が目立った。（佐伯）

▽3位決定戦

島根選抜 8（4−3 4−4）7 広島選抜

得	【広島】		【島根】	得
0	永岡	GK	平野	0
0	山本	GK	青砥	0
0	石田	FP	神庭	3
1	山田	FP	安井	2
0	山本	FP	安達	0
1	長谷部	FP	藤川	2
0	矢舗	FP	大谷	0
0	住田	FP	松尾	0
0	猫本	FP	竹内	0
3	矢田	FP	山下	1
2	中嶋	FP	西田	0
0	藤中	FP	久恒	0
7	(0)	PT	(0)	8

（審・中村 佐伯）

○…前半7分過ぎまで両チームとも動きが悪く得点につながらない。島根はフリースローからのスタンディングで少しずつほぐれ、前半は島根ペース、1点リードで終了。後半も島根先行ですすみ、広島に前半の1点差が重くのしかかった。広島はいつもの走りがみられなかったものの好ゲームを展開した。（角田）

▽決勝

愛知選抜 14（7−4 7−8）12 山梨選抜

○…立ち上がり両チームとも動きが悪かったが、3分30秒愛知が③がとび込んでから両チームとも足が動き出す。山梨は18分に得た同点にするペナルティーを失敗、追いつくことが出来ず逆に愛知に連続得点を許し7対4と愛知リードで前半を終わる。

得	【愛知】		【山梨】	得
0	田中	GK	日原	0
0	畑中	GK	北井田	0
0	森山	FP	保坂	5
4	石田	FP	沼田	5
2	稲垣	FP	小菅	0
0	渡辺	FP	土橋	0
0	高瀬	FP	小沢	0
0	長谷川	FP	荻原	0
0	奥村	FP	南	0
6	近藤	FP	田辺	0
2	倉地	FP	早川	0
0	森	FP	丸山	2
14	(1)	PT	(3)	12

（審・角田 村上）

後半に入って20秒、愛知はパスカットから速攻で加点、その後一進一退をくり返したが、8分、山梨④退場のすきに2点を加え、後半追い上げられたものの2点差で逃げ切った。（佐伯）





優勝した愛知選抜

●第37回くにびき国体総評

愛知県が22年ぶりの総合優勝

地元島根も健闘、総合で3位に喰い込む

北川　勇喜

第37回くにびき国体の総合優勝は、少年女子優勝、少年男子準優勝、成年男子準優勝、成年女子第4位と全ての種別で上位を占めた愛知県が獲得した。

全国ハンドボール関係者の注目の的だった地元島根は、県本部及び協会関係者の予想と期待通り総合第3位を獲得した。



少年女子に優勝した愛知の攻撃

なかでも、少年の部の女子は、名門広島を破って堂々第3位。男子は、準決勝対福岡(優勝チーム)戦、3・4位戦で対大阪戦共惜しくも僅差の敗北で第4位に終ったが、この両チームの大健闘は地元の人々に、ハンドボールのイメージを強く焼き付ける役割を果し、普及に大いに貢献した。

このように、日本一普及率の高い愛知県が総合優勝し、日本一低い島根県が総合で第3位を獲得したことは、ハンドボール界全体のこれからの歩みに、多大なる教訓や示唆を与えてくれたものと考える。

具体的には、愛知県協会が、ハンドボール協会の永遠のテーマである普及と強化の道を、あたかも世界に誇るトヨタ車のように、スピードと持久力を兼ね備えた両輪、その足まわりに、強力なエネルギーを与える性能の高いエンジン、これらの機械を完全に保護し、しかも空気抵抗をそぐスマートなボデーで走るがごとく、目的に向って組織が機能しそれぞれが活動していることである。

第二は、後進県、不毛県、1・2回戦ボーイと呼ばれていた島根県が、地元有利な国体と雖も、練習に次ぐ練習で、一昨年、昨年とは、見違えるようなチームにまで成長し、見事に目的を達成したことである。

ピラミッド型の頂点、細い円筒型の頂点、両方共、道程は決して易しくはないが、「やればできる」ことを、同好の仲間が教えてくれた。このことは大きい。

成功したくにびき国体

ハンドボール競技は、江津高校運動場で少年男女、江津市民体育館で成年男子、温泉津町総合運動場及び体育館で成年女子のゲームが実施された。

このように、2地域3会場の開催で、両市町がお互い競り合って力を注いだだけに、施設設備の点、大会運営の組織や活動の面では、島根がよくぞこれまでにと思われるほど、完璧に近いものだった。

しかし、参加選手や、役員の例からいえば、試合会場が三カ所に分散したために、競技日程が過密な2日目、3日目に、同県同士の選手の応援が出来なかったり、成年女子のあるチームが監督が不在のまま（監督が成年男子の選手で江津会場でゲーム中）戦っていたケース等、選手不在の大会運営等はこの大会の性格上、今後考えなければならない問題点でもある。

いずれにせよ、山陰地区で初めての全国大会、この大会開催及び競技運営の実績は協会にとっては大きな財産であり、しかも、二地区の開催で、ハンドボールが広く普及されたことは、何物にも代えがたい収穫だった。

おそらく、これからの島根県のハンドボールの普及は、松江地区中心と、江津地区中心との、二輪の勢力で拡がって行くことだろう。この上ない我々ハンドボールマンの喜びである。

盛り上りの無かった決勝戦

決勝戦は、関係者の予想通り、成年男子は、広島県（湧永薬品）対愛知県（大同特殊鋼）、成年女子は、三重県（ジャスコ）対熊本県（立石電機）、少年男子は、福岡県（久留米高校を主体としたチーム）対愛知県（愛知高校を主体としたチーム）、女子は、愛知県（名古屋短大付属を主体としたチーム）対山梨県（日川高校を主体としたチーム）であった。

成年男子の部は、日本リーグで鎬を削る両雄の対決となり、しかも、目前に迫っているアジア大会に出場する日本代表選手、津川、



少年男子準決勝大阪―愛知の熱戦

山本、生駒、池ノ上、志賀、井藤、以上湧永薬品所属、蒲生、田口、大同特殊鋼所属の計8名もの豪華メンバーの対決で、ハンドボール関係者のみならず、地元の人達の関心をも、一手に集めた期待のゲームだった。

ところが、ゲームの内容は、点数の上だけの大接戦に終り、彼等が有する技術や戦術の枠、最高の技術と戦術を駆使して織り成す、ファンタスチックなプレーは、ついに出ず終い、中味の薄い勝負に終ったのは、いかにも残念であった。

このことは一重に、夢と期待を一身に集めてる・ミスターハンドボール蒲生選手の、体力的な衰えの陰りが、そろそろ見え始め、このことが、プレーに影響しているからに違いない。

以前の彼の特色は、強靱な足腰と、しなやかな豪腕、緻密な頭脳から繰り出すシュートは、ただ単に、ターゲットに打ち込む豪快さ一辺倒の外国のロングシューターとは違い、日本人が持つ、身体の繊細さ、感覚の鋭敏さを、一投に盛り込んだ、彼独特の芸術品だったし、この超一流のシュート力を軸に織り成す、数々のコンビネーションプレーが大同のオリジナリティーな攻撃法だった筈である。

今回、残念ながら、これらのプレーに接することが出来なかったことについての私見だが、願わくば蒲生選手の体力的衰えが、杞憂であってくれればと願いたいものである。

成年女子の決勝戦は、意外な点差となったが、このゲームでのジャスコの選手達のプレー振りは、攻防共に、彼女達の持味を十二分に発揮した見事な戦い振りであった。

勝因の第一は、GK矢部を要めに、体格に優れた辻本選手を中心とした、動きの激しい、しかも、フォローに忠実な厚い壁を形成して、立石の姫野を軸とした、ポストゾーンでの緻密な小わざを、がっちり食い止めたことと、更に、最近成長の著しい岩村選手のロングシュートを徹底的に潰したことである。

攻撃では、名手横山選手が、華麗なカットインプレーで、サイド及びセンターゾーンを、辻本、寺沢両選手がディフェンスの壁の上から、あるいは横からシュートを決めて、立石の組織的な防御網を、縦横にゆさぶって崩した戦法、戦術は実に効果だった。おそらく、この春松下選手等の引退で衣替えをしてスタートしたジャスコに取っては、会心のゲーム展開だったに違いない。

少年男子決勝は、福岡県の圧勝に終った。

緒戦は、インターハイの覇者らしくなく、気合の乗らない戦いぶりで、前途多難を思わせたが、そこは、数々の辛酸をなめながら、着々と監督の器を大きくしている古賀監督の采配で、選手達は上に進むにつれて気力を恢復し、一戦毎に充実したチーム力を発揮した。

なかでも、決勝戦では、前半、愛知県のエースアタッカー左の浜田選手と、シュート力のある右の岡田選手を徹底的にマークし、気迫のこもったディフェンス力で前半彼等を押さえ、後半、マークのみならず、積極的に浜田選手のシュートをカットして、これを速攻に継ぐという絶妙な采配で、ゲームを一方的なものにした。

しかも、セットオフェンスでは、ロング、ミドルシュート、カットインプレーと、多彩な攻撃力を持つ馬場選手を、相手がマークしてくるという予想のもとに、彼を囮りとしたポスト攻撃、サイド

成年女子優勝を果たして

ジャスコ監督　鈴木義男

国体はハンドボール競技だけでなく、県内他競技との得点獲得競い等もあり、優勝は実にうれしい。ここまで来れたのは、選手が良く頑張った事の一言に尽きる。

今年は松下等レギュラー数名が引退してレベル低下は明白であるだけに、どこまで昨年のレベルに近づけるかが課題であった。現に2月の東海大会、5月の全日本実業団大会は惨敗に終っているだけに、当初は優勝など考えられなかった。しかし日本リーグ（6月）に始まって前期三勝出来たことと8月の西独戦に勝利を収めたことで、除々に力が付いてきている事は感じる。

この島根国体は、決してジャスコが良かったのではなく、相手チームが悪かったのではないか。他チームが主力になっている外人選手の不出場でもたついている所を、一歩飛び出して勝利を拾った感じである。何にしろ今大会は、ゲーム中の好・不調の波が多くあっての勝利だけにうれしく思う。国体後、次週に日本リーグ後期が始まる。他チームもベストメンバーでの対戦だけに容易ではないがこの勝利にはずみをつけて、後半戦に向けて頑張りたい。

攻撃などを多用して、相手の防御戦法の裏をかいた攻撃の成功は、これが近代ハンドボールの戦術的プレーと呼ぶにふさわしい勝ち方だった。

少年女子の決勝は、山梨県と愛知県の対戦になったが、日川高校にインターハイで優勝を勝ち取った、あの時の、あたかも武田軍のような、疾風迅雷な速攻で確実に得点を重ねた攻撃力の再現を、ひそかに期待したが、残念ながら勝利を意識してか、堅くなり、凡ミスの続発で自滅してしまった。

これに対し愛知勢は、沈着冷静にゲームを進め、特に、相手のミスを確実に得点につなぐ勝負感覚や、状況判断力は、さすが、数多くのゲームで凌を削る愛知勢ならではの感があった。

沸かせた女子の準決勝戦

前述したように、決勝戦4試合は、点差がついたり、勝負に拘泥して、プレーの内容が貧弱だったりして、初めて観る人達に好印象を与えることが出来なかったようだが、成年女子の準決勝戦、ブラザー対ジャスコ、大崎電気対立石電機の二戦は、両方共、稀に見る逆転劇の好ゲームで、会場は興奮のるつぼと化した。

その要因の第一は、ブラザーの前半の速攻が圧巻だったことである。

植田、増永、尾崎選手のスモールブラザーコンビの、ディフェンスから攻撃に移る切り替えの速さ、密集状態のゾーンでの対峙の関係（1対1、2対2、3対3等の同数の相対関係）から、スピードとスピードの変化（フェイントを含む）で、アウトナンバー（数的優位。1対1から1対0をつくる）する戦術的プレー、この状態を、中盤及び、相手のゴール前まで維持する。クイック・コンビネーションの展開力、身を挺しながら、瞬時に、しかも空間で、GKをかわしてのスピード溢れるシュートに、満場は惜しみなく拍手を送ったほど、素晴しい攻撃力と得点だった。

続く、立石と大崎のゲームもまた、会場を大いに沸かせた面白い内容だった。

大崎電機チームは昨年来、アジアナンバーワンといわれていた李相玉と、李京姫の二人をチームの一員に迎えたばかりか、更に、ハンドボール王国のルーマニア遠征等の思い切った強化策で見違がえるような選手やチームに変貌し、特に、日本のエースと託されている西選手が、大きく成長して、チームの柱となったことは大きい。

おそらく、練習及び、ゲームの中で、日本人にない李選手の読みとカンによる戦術的プレー、縦横無尽に駆使する華麗なテクニック等を、模倣し、吸収し、更に自分の戦術や技術として吸収したに違いない。

このように成長した彼女が軸となり展開する攻撃力は、得点につながるケースが高く、このプレーの連続で大崎は前半大きくリードし、ゲームを大変面白くしたのである。

くにびき国体のエポック

溯れば数年前まで、ハンドボール関係の誰もが、国体に、目の青い、金髪の女性が、参加するとは、予想だにしなかったことだろう。

だが、今回奇しくも、国引国体の因縁か、正しく、ユーゴスラビアの英雄的存在だった、ＫＡＴＩＣＡ・ＩＬＥＳ、愛称カーヤ、モスクワ五輪の銀メダリスト時のキャプテン、公式国際試合、201回、ユーゴハンドボール界きっての屈指の名プレーヤーと、これも、元ユーゴナショナルチームの一員であったＶＥＲＩＧＡ・ＤＲＶＥＮＪＡＫ（ベェーラ）の2選手が、この大会に、コーチ役として参加し、いろいろな意味で大いに話題を提供した。

彼女達は、ゲーム前のコンディションづくりでは、トレーナーとして、またゲーム中は、個々の選手のアドバイザーとして、そして、フリタイム時には、ハンドボールマンや関係者、地元の人々との、いろいろな交流で大いに、国体のムードを盛り上げてくれた。

まさしく、国引国体ならではの感があった。



ユーゴの選手の登場は画期的だった

総合優勝のよろこび

愛知県選手団団長　浅野克彦

初めて山陰路で開かれた島根国体、地元の人達が10月は出雲に神が集まる「神有月」との言い伝えが真のように6日間好天に恵まれ開催県島根にとっては天皇皇后両杯の獲得と併せて万々才の素晴らしい大会であったといえよう。

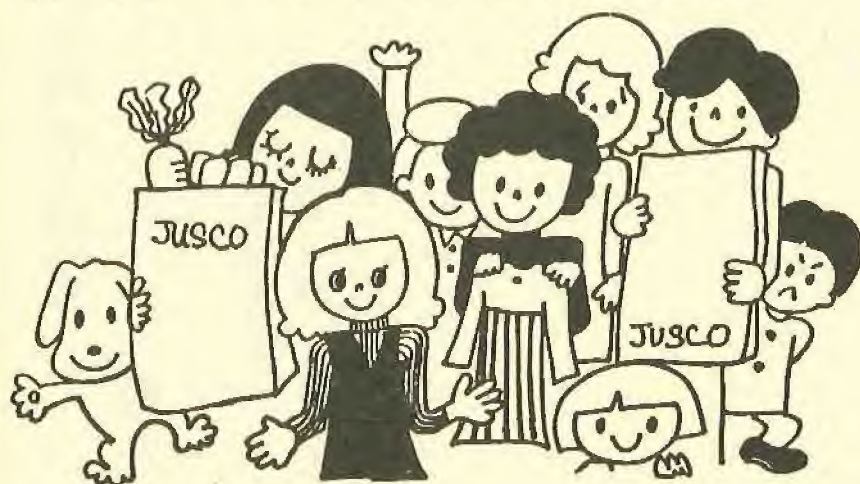
島根県民の喜びと等しく、「ハンドボール王国」を自認する我が愛知にとっても、第15回の熊本国体に完全優勝をとげて以来、22年ぶりの男女総合のダブル優勝に関係者一同久々の快挙を心から喜びあったのだ。

国体へ四種別とも出場が決まった時点から三年ぶりの男女総合優勝はもとより女子総合優勝も狙えると選手強化に取り組んだ。ただ不安があるとすれば調子の波が大きく勝負は水ものの少年男女の組み合せ次第であると、しかしそれも本大会は非常に恵まれた組み合せとなり、これなら間違いなくいけるぞという確信を深めたのだ。

そしてこのチャンスを逃したら今後二度とチャンスは巡ってこないぞと総合優勝を至上命令に選手団を島根に送り込んだのである。

愛知県の大なる期待に応えて選手達は持てる力を十分に発揮し、健闘よく念願の目的を達成してくれた。この輝かしい栄光を獲得出来たのは選手達の頑張りもさることながら、彼等を蔭から支援してくれた県下の多くの指導者、仲間の存在があったればこそで、愛知ハンドボール界一丸の勝利であると深く感謝し、一層の努力を重ねていきたい。

暮らしへの奉仕を合言葉に。



ジャスコ
東京本社 東京都千代田区神田錦町1－1
大阪本社 大阪市福島区大開1－8－8



鉄はともだち

石から銅へ、銅から鉄へ。人類がくらしの中に鉄をとりいれてから、既に3000年以上もの年月がたっています。いま、鉄はわたしたちの生活に深く結びつき、社会を支えるたいせつな役割をになっています。鉄の力強い手ごたえ、じょうぶで、加工しやすく、資源にも恵まれている鉄。新日鉄は、社会のさまざまなニーズに対応して鉄のもつこの豊かな特長を余すことなく引きだすために、新しい技術の開発や資源・エネルギーの有効利用など幅広い分野で、多くのテーマととりくんでいます。

新日本製鐵

第19回 IHF総会（ロンドン）——報告

日本協会専務理事
荒川清美

第19回IHF（国際ハンドボール連盟）通常総会が、8月18、19の両日ロンドンのウエンブレー会議センターで行われ、日本からは私（荒川）が代表として出席しました。以下に、その主要事項をアジア大陸各国代表会議（16日）とあわせ報告いたします。

IHF総会は2年にいちど開かれるもので、今総会には加盟80カ国のうち、53カ国の代表が出席、用意された20の議案を、整然としたなかにも、活溌な論議を応酬させながら、協議した。

まず、恒例の「ハンス・バウマン氏カップ」の授与が行われ、この栄誉に、韓国協会が浴した。

同カップは、国内ハンドボール界の発展と普及にいちじるしい成果をあげた主として〃新進国協国〃に贈られるもので、アジア大陸では、かつてクウェート協会が受賞している。

このあと、出席各国代表の点呼総会の成立宣言、前回（モスクワ総会）議事録の承認などが行われ議事の核心へと進んだ。

ヒョークベルグ会長（スウェーデン）、ワドマルク競技組織委員長（スウェーデン）、ワング審判・規則委員長（ノルウェー）、クンスト手法・コーチ委員長（ルーマニア）、マダラス医事委員長（ハンガリー）、ザイラー普及宣伝委員長（東ドイツ）らによる「専門委員会（各コミティ）」の報告は、昨年の男女世界ジュニア選手権、今春の世界選手権の活況が中心となり、特筆すべき内容はなかった。

つづく、財務・会計報告は、IOC（国際オリンピック委員会）からの分配金などを含め、極めて順調であると説明され、財政基盤の確立に明かるい見通しがあることが付け加えられた。

例年の総会どおり、ここまでの議事は、かなりスピーディ、事務的に処理され、時間がかけられて審議されるのは、このあとの各大陸、各国、各コミティからの提案事項であった。

今回も、各大陸、各国協会から提案された件数は、重複する内容を含め、24項目に及び、白熱した意見が交換された。

この提案のなかには、ヨーロッパカップなど、直接、日本に関係ないものも含まれているので、ここでは、決議（採択）された提案のなかから、関係深いもののみを報告させていただく。

①大会組織

IHF理事会が規約20条「委員会の義務の範囲」のうち、手法・コーチ委員会のCとして『文献(図書）及びビデオ材料の製作にあたり、普及宣伝委員会と協力、トレーナー（コーチ）の教育、訓練の材料を作り、講習会を開催する』ことを付加したいと提案、採択された。

また、普及宣伝委員会の新しい義務の範囲として、発展途上国の審判・規則部門、コーチ手法部門の教育と育成のため講習会を組織しアレンヂしたり、時には援助したりすることを付加することになったのも注目される。

これらの事業によって、ハンドボールは、これまでまったく関心を示さなかった国や地域にも理解を深めさせることができるだろう。

各大陸も世界B、Cへ

②世界選手権に関する件

今総会の最大決議といえるものであった。

これは、現在の世界選手権のうち、男子はB、C各グループ、女子はBグループのいずれもに、ヨーロッパ地域以外の国が参加できない規程を改正しようとするもので、私も、総会出席前に、アフリカ大陸の役員たちから説明をうけ強い関心を払っていた。

アフリカ各国の提案は、アフリカ、アジア、アメリカ各大陸で行なう世界選手権の予選の一位は、これまで通りAグループに送りこむが、二位国はBグループに、三位国はCグループに参加できるようにしたい、という主旨である。

これによって、各大陸の上位3カ国（女子は2カ国）が、世界の優秀、有力国と対戦するチャンスをつかめ、レベルアップが図れるし、Bグループも、Cグループも名実ともに「世界選手権」とすることができると述べた。

ヨーロッパ各国が、これに対して、どのような姿勢を示すか注目されたが、彼らにしても、ハンドボールが、グローバルなスポーツに発展することに異論はなく、ソ連が全面的支持するなど特に反対意見も出ないまま、採択された。

この新システムがいつから施行されるかは明らかにされていないが、常識的には、一九八六年の第11回世界選手権、第9回世界女子選手権に向けてのサイクルが最初のステップとなろう。

③大陸レフェリーの指名

日本、クウェート、ウガンダらの各国協会と、アメリカ大陸協会の〃共同提案〃になったヨーロッパ以外の大陸に所属する各国のAパネルレフェリーを世界選手権、オリンピックなどのレフェリーに指名せよ、という提案は、日本にとって、永年の宿願を実現させるために、是が非でも通過（可決）させたいものであった。

総会のムードは、これら大陸のレフェリー（Aパネル）と、ヨーロッパのレフェリー（Aパネル）は、まったく同資格であるとしながらも、一気に、この提案を全面的に受けいれようとするには遠く「資格は同じだが水準に違いがある」という意見が支配的で、「原則的に認めて、指名する方向で検討する」といういわば〃玉虫色〃の結論となった。

私自身は、日本のレフェリーソ

サイエティのために、これでも大きな前進と考える。ロサンゼルス・オリンピックはムリとしても、八六年の世界選手権には、日本人レフェリーがノミネートされることを大いに期待しておきたい。

④デレゲーションの増員

ポーランド協会から、世界選手権のデレゲーションを22名までに増員することが提案され、可決した。（現行は20名）

ただし、選手は、これまでどおり16名（GK3、FP13）に据え置き、旧来4名だった役員などを6名にする。

ポーランド協会によれば、この6名は団長、チームリーダー、監督、コーチ、ドクター、マッサージャーである。

なお、可決にあたり、各国デレゲーションの経費（全額）が、参加国側により負担される場合は、この人数を減らすことを認めるとされた。

85年の世界女子Jは韓国

ハンドボールの国際的成長度を計るバロメーターともいえる新加盟国は、アフリカ地域のケニア、スーダン、ソマリ、サントーメ、アメリカ地域のドミニカ、アジア地域のオーマンの計6カ国が認められ、これでIHF加盟国数はと伸びた。

準加盟国のオーストラリアとアイルランドは、今回の総会では正式加盟国とならなかった。

また、事務当局によれば、IHF加盟を準備中の国は、現在、世界で32カ国あると伝えられた。

宿願の百ケ国突破は、いよいよ時間の問題である。

つづいて、一九八六年までの行事カレンダーの選定が行われ、次々と、その開催地（主管協会）が決まったが、大書すべきは一九八五年の第5回世界女子ジュニア選手権に韓国が名乗りをあげ、同国に決定したことであろう。

アジア地域で〝世界選手権〟が行われるのは史上初。

すでに八六年の第10回アジア競技大会、88年のオリンピック夏季大会のソウル開催が決まっている韓国の意欲を、まざまざと見せつけるものであった。

このほかの事業の開催地は次のとおりである。

▽第4回世界女子選手権Bグループ（一九八三年・ポーランド）
▽第5回世界男子選手権Cグループ（一九八四年・イタリア）
▽第5回世界男子選手権Bグループ（一九八五年・ノルウェー）
▽第5回世界男子ジュニア選手権（一九八五年・イタリア）
▽第11回世界男子選手権Aグループ（一九八六年・スイス）
▽第6回IHFレフェリー・シンポジウム（一九八五年・スイス）
▽第6回IHFトレーナー・コーチシンポジウム（一九八五年・オランダ）
▽第20回IHF通常総会（一九八四年・アメリカサンディエゴ市）

なお、一九八五年の第4回世界女子選手権Bグループ、八六年の第9回世界女子選手権Aグループの開催地は今総会では決まらず、執行部一任となった。

また、新提案されるのでは、といわれていた「世界ユース選手権（16才以上18才未満）」については開催に向けて前向きに検討することが申し合わされたに留った。

今回は、オリンピック中間年の総会とあって役員改選（任期4年）やルール改正は、いっさい行われず、議事としては、平穏というのが印象であった。

財政事情の好転、急速な普及度など、国際ハンドボール界の活況は、私にも大きな自信を与えるものであり、また、会議前後の休憩時間などで、各国代表から、日本の近況を熱心に聞かれるなど、ハンドボールが、ヨーロッパのスポーツから、世界のスポーツへと確実に脱皮、成長、そのなかで、日本の果した役割、果している役割が極めて大きいことを痛感、この一語を、今総会報告の結びにかえさせていただく。

アジア大会、12カ国で

〜アジア各国代表会議〜

アジア地域各国代表による「アジア大陸代表会議」は、IHF総会にさきがけ、8月16日ロンドンのペンダー・ホテルで行われた。

出席したのは、モホット・アリ・アブル（バーレーン）、王（中国）、荒川のAHF（アジアハンドボール連盟）幹部3人だけで、IHF副会長、AHF会長のアル・サバハ（クウェート）は、急用のため、直前に帰国、姿をみせなかった。

会議は、AHF事務局長のアブル・ハッサン（パキスタン＝IHF未加盟）の進行で、こん談会形式を採り、主に、11月19日からインドのデリー市で初めて実施される第9回アジア競技大会（男子ハンドボール）に話し合いが集中した。

このなかで、ハッサン氏は、アブル氏（AHF副会長）とともに現地視察を済ませたことを報告したが、肝心の競技日程（予選リーグ組み分け）については、いぜん未定で8月末のナショナルエントリーではバーレーン、中国、韓国イラン、イラク、日本、クウェート、カタール、サウジアラビア、シリア、アラブ首長国連邦、インドの12カ国（フル・ブックス）が届出ていることが明らかにされたに留った。

注目のレフェリーは、アジア地域内のパネルAから6ペアをノミネートすることが申し合わされたが、具体的な名前までには、煮詰められなかった。

このほか、台湾（中国タイペイ）が、AHF加盟を申請した場合はIOC（国際オリンピック委員会）が認めた条件ならば受けつけることを申し合わせた。

空白のままの第3回アジア選手権や、来年に予定されるロサンゼルス・オリンピックアジア地域予選（男女）については、まったく話し合われず、これらの件は11月中旬、デリーで開かれる第4回AHF総会に持ち越される形となった。

8月21日、IHF総会から帰国した荒川清美専務理事は、アジア競技大会について次のように語った。

「ハッサンAHF事務局長の話では、選手村やハンドボール会場（デリー大学屋外球技場）は順調に仕上っているようだが、大会運営については、ようやく実施要綱が出来あがった程度で、具体的なものは、ほとんど手がつけられていない。ハッサン氏も、アブル、王両副会長とも、実際の運営は、私に全面依存だといっていたが、AHFの歴史を考えれば、日本が主体になるのはやむを得ない。



この看板のお店でご相談ください。

滋養強壮・虚弱体質に

●にんにく抽出エキス・ビタミンB_1・肝臓分解エキス・ビタミンB_{12}製剤

キヨーレオピン

●朝鮮人参・麝香・牛黄・ビタミンB_1・にんにく抽出エキス製剤

レオピンファイブ

週に一度はスポーツを



健康づくりは毎日の快眠・快食から…
それに適度なスポーツも欠かせません。
私達は皆様の健康を願って
薬品づくりに努めます。



湧永製薬株式会社

本　社　〒553 大阪市福島区福島3丁目1番39号 TEL.(06)458-8901

中央研究所 広島工場　〒729-64 広島県高田郡甲田町大字下甲立1624 TEL.(082645)2331

ハンドボールの技術と戦法

ヨアン・クンスト＝ゲルマネスク著
木野実、杉山茂監修／中村一夫訳
A5判上製／定価2900円

現代最高の理論家でルーマニアのハンドボールを世界一にした著者が、一流選手の写真と豊富なイラストで詳説。技術・戦術書の決定版。

■スポーツ入門双書■
ハンドボール

宇津野年一著／B6判／定価500円　チームプレーに発展する前段階のハンドボールの基礎技術をわかりやすく解く入門書。

■スポーツ・ルール・ハンドブック■
ハンドボールルール・ハンドブック

安藤純光著／新書判／定価480円
初心者にも完全に理解できる明快な解説。選手、及び審判の実務にたずさわる人々にとって格好の書。

ハンドボール教本

宇津野年一著
A5判／定価600円　パス、ドリブル、シュートなどの基本技術から、攻撃、防御の応用までを写真と図解で指導する。

最新ハンドボール技術《防御編》

宇津野年一著
A5判／定価850円　近代ハンドボールにおける防御の重要性を強調、守りを固くして強くなろうというチームに最適。

最新ハンドボール技術《攻撃編》

宇津野年一著
A5判／定価1300円　個人的攻撃能力とチーム攻撃法に分かれ、それぞれ基本的な技術、練習法を詳しく解説する。

〒101 東京都千代田区神田錦町3-3　ベースボール・マガジン社　☎03(291)7901

第9回アジア競技大会（インド・ニューデリー）最終候補選手役員

役職	ふりがな 氏名	生年月日（年齢）	出身校 在学校	勤動先	身長 体重	自己最高記録
監督	たけの ともあき 竹野 奉昭	1936.7.16（46歳）	日本体育大学	大崎電気工業	174cm 85kg	モントリオール五輪1978．1982世界選手権監督
コーチ	ひらおか ひでお 平岡 秀雄	1946.1.16（36歳）	東京教育大	東海大学	183cm 76kg	日本ハンドボール協会トレーニングドクター
選手 GK(1)	やない ひろし 矢内 浩	1960.8.1（22歳）	学法石川高出国士館大在学中	学生（国士館大）	189cm 85kg	1981世界ジュニア代表
選手 FP(2)	つがわ あきら 津川 昭	1951.8.3（31歳）	大阪経済大	湧永製薬	180cm 77kg	1978．1982世界選手権代表
選手 FP(3)	しが よしひろ 志賀 良弘	1956.4.4（26歳）	大阪体育大	湧永製薬	188cm 90kg	1978．1982世界選手権代表
選手 FP(4)	たかぎ しゅんじ 高木 俊二	1959.9.29（22歳）	新居浜工高	日新製鋼	184cm 70kg	1979世界ジュニア代表
選手 FP(5)	にしやま きよし 西山 清	1959.4.8（23歳）	筑波大	日新製鋼	181cm 76kg	1982世界選手権代表
選手 FP(6)	さいとう こうじ 斉藤 幸司	1953.11.24（28歳）	日本体育大	大崎電気工業	174cm 80kg	1978．1982世界選手権代表
選手 FP(7)	やまもと しんじ 山本 伸二	1953.9.17（28歳）	名城大	湧永製薬	178cm 70kg	1982世界選手権代表
選手 FP(8)	ながの とおる 長野 透	1956.3.1（26歳）	中央大	大崎電気工業	177cm 74kg	1982スペイン国際代表
選手 FP(9)	まつい こうじ 松井 幸嗣	1957.7.6（25歳）	日本体育大	千葉幕張北高校	178cm 75kg	1981フランス国際代表
選手 FP(10)	たぐち かつとし 田口 勝利	1961.10.30（20歳）	幡多農高	大同特殊鋼	185cm 75kg	1981世界ジュニア代表
選手 FP(11)	がもう せいめい 蒲生 晴明	1954.4.5（28歳）	中央大	大同特殊鋼	192cm 90kg	モントリオール五輪1974．1978．1982世界選手権代表
選手 GK(12)	おおはた たかひろ 大畑 孝広	1957.1.9（25歳）	日本大	本田技研鈴鹿	184cm 76kg	1982世界選手権代表
選手 FP(13)	いこま やすお 生駒 靖夫	1955.7.12（27歳）	京都産業大	湧永製薬	185cm 84kg	1981フランス国際代表
選手 FP(14)	いけのうえ たかし 池上 孝司	1955.9.25（26歳）	日本体育大	湧永製薬	185cm 78kg	1978．1982世界選手権代表
選手 FP(15)	いの えいいち 猪野 栄一	1959.6.23（23歳）	中央大	本田技研鈴鹿	185cm 72kg	1982世界選手権代表
選手 GK(16)	いとう ひでただ 伊藤 英忠	1959.3.10（23歳）	日本体育大	湧永製薬	185cm 80kg	1982世界選手権代表

第9回アジア大会 日本代表メンバー決まる

第9回アジア大会は、11月19日よりインドのデリーで開催される。

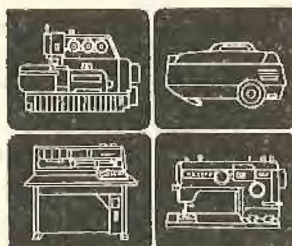
この大会に必勝を期する日本代表選手団のメンバー18名（監督、コーチを含む）が決定した。

選手団は、11月11日に結団式を行ない、16日に出発する。大会の日程は以下の通り。

19日 開会式
20～22日 練習
23～27日 予選リーグ
28日 決勝トーナメント1回戦
30日 決勝戦

その後選手団は、12月2日にインドを出発して帰国、3日に東京にて解散する予定。

ミシンから…
エレクトロニクスまで



工業用ミシン・家庭用ミシン・電子機器
編機・家庭電気製品・縫製附帯機器

JUKI
東京重機工業株式会社
営業本部 東京都新宿区歌舞伎町23
電話03(203)8241(大代表)



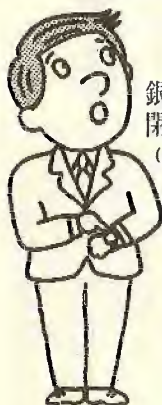
給与の
お引き出しに…



出張に…



ショッピングに…



銀行が
閉まった後で…
(ダイワの外壁や ダイワ コーナー)



旅行に…



ふいの出費に…



こんなとき便利な ダイワ キャッシュカード。

日常のお引き出しに…
カード1枚で現金自動支払機から手軽に現金が引き出せます。通帳もハンコもいりません。サイフがわりにご利用を…。

時間外のお引き出しに…
ダイワの外壁に面したキャッシュコーナーでは、平日午前8:45～午後6:00(土曜日は午前9:00～午後2:00)まで、また ダイワ マークのコーナーでは、平日午後5時、土曜午後2時まで現金が引き出せます。

ご出張やお買物の折に…
お出かけ先で現金がご入用になったときダイワの全店にあるキャッシュコーナーや ダイワ マークのコーナーがお役に立ちます。

給与のお引き出しに…
給与振込制をご採用の場合は、お給料日の朝からカードを使って引き出せます。奥さまもご自宅近くのダイワでどうぞ…。

ダイワキャッシュカードは総合口座(普通預金)をご利用の方におつくりしています。お気軽にお申込みください。

あなたと明日を
預金も
信託も…
大和銀行

ダイワ マークのコーナーでは設置場所により、お取扱い時間が異なる場合があります。
また、日・祝日および設置場所の休業日はお取扱いしません。

日本リーグ後期展望

男子・大同湧水の二強が中心！
女子・混戦が最後まで続く？

日本リーグ運営委員長
安藤純光

第7回日本ハンドボールリーグも前期を終って、男子は大同（5勝）、湧永（4勝1敗）、本田、日新、大崎（2勝3敗）、イーグルス（5敗）の順位となり、後期に入ろうとしている。女子の場合は変則な前後期であるが、立石、ジャスコ、大崎がそれぞれ3戦して（3勝）でトップを走り、ブラザー（2勝1敗）、大和（1勝2敗）、日立（1勝3敗）、ビクター（3敗）、北国（4敗）となっている。

＜男子＞

第7回リーグも男子の部はどうやら大同・湧永の二強によって優勝が争われることになりそうである。5日の全日本実業団選手権大会決勝戦での両雄の対決は全く予想外の大差20対9で湧永が圧勝しているなどから、前期開幕前から湧永優位の声が大きかったが、広島での前期最終日の対決は、これに反して大同が勝利を握り、有利なリーグ展開となった。しかし後期リーグを前にしての「くにびき国体」での決勝戦で三度対決したが16対15の僅少差で湧永が優勝している。いずれにしても最終日の11月7日名古屋市体育館での両雄の四度目の対決の結果が、今回もまた王者を決定することになるであろう。前期を終って大同は総得点119、総失点80であった。これに対して湧永は総得点124総失点90であった。この数字からみると、大同のディフェンス、湧永のオフェンスの対決といえるだろう。

それぞれ2勝をあげている本田日新、大崎の3位争いもまた興味深い。前期の対戦では三者三巴となっている。3・4・5位争いは熾烈を極めている。この三チームのうち前期の総得点と総失点の差が＋6点の日新がやや有利と思われるが、予想することは極めて困難である。前期初戦に大同に、敗れはしたものの善戦した大崎が後期の大同戦を如何に戦うかも興味のあるところである。リーグで特異な存在であるイーグルスが前期全敗と不本意な成績で終り苦境に立たされている。8月にエジプト遠征を果した名門イーグルスの奮起を期待したい。

＜女子＞

一方、女子の部に目を移して優勝の行くえを占うことは、これまた容易ではない。女子の場合は前期を終って、各チームは3ないし4ゲームを消化しており、後期に3ないし4ゲームを行なう。前期を終って立石、ジャスコ、大崎がそれぞれ3戦3勝の成績でトップグループを形成し、後期にのぞもうとしている。この三チームの対戦は後期に組まれているので、後期リーグの一戦一戦は第7回リーグの優勝の行くえを左右することになるであろう。



大同・湧水どちらに軍配が

試合巧者の立石は、ユーゴからの「助っ人」K・イレシュV・ドルベェニャクもチームになじんで、いよいよその真価を発揮し大きな戦力となっている。井監督の采配と二人の助っ人のプレーに注目したい。韓国からの「助っ人」李相玉、李京姫をもつ大崎も初タイトル目指して意気盛んである。すっかりチームメイトになりきった二人の助っ人は、いまや大崎の大黒柱として活躍している。巧みなフットワークとそれにも増して卓越したボールさばきが見ものである。助っ人をぬいての「くにびき国体」3位は大きなはげみになるであろう。相変らずたくましさを見せるジャスコの底力もまた見逃すことはできない。「くにびき国体」決勝で助っ人をぬいた立石ではあるが25対12と圧勝、この勢いを駆っての後期リーグは期待できる。第7回リーグの女子の優勝は、この3チームにしぼることができるであろう。さらに強いて求めるなら助っ人をもつ大崎、立石にしぼることができるであろうか。この意味で11月3日の立石対大崎戦（熊本）が大きな意味をもつことになるであろう。

一足おくれているブラザーは、対立石戦、対大崎戦を後期に残しているだけに、これを如何に戦うかが戦列復帰のカギになる。日立は前期のつまずきが大きく優勝戦線から遠ざかったが、これまた大崎、立石戦を残しているので日立の意地を見せてほしいものである。ビクターは、チーム再編成の時期にあり苦しい戦を強いられているが再生ビクターの日の一日も早いことを期待したい。大和、北国ともに一層の奮起を期待したい。

＜二部男子＞

前期を終って三陽、中村、三景がそれぞれ3勝、トヨタが2勝1分でこれにつづいている。女子では重機がムネカタを破って優位にあり、それぞれ一部の座をねらっている。

＜個人表彰＞

日本リーグでは、チームの優勝と個人の表彰を行なっている。これもまた興味深い。今シーズンの話題は蒲生（大同）の500得点がどこで達成されるか、あと12点という得点は彼にとってはそれほど時間のかかる問題ではなかろう。

そして蒲生君が五度目の最高得点賞を手にするか。最高得点率賞は、第2回以降に設けられたが松本（湧永）の連続受賞となっている。今回も松本君の手にわたるか。誰れがベスト7に選ばれるかなど、勝敗とは別なたのしみがある。

◇お願い

日本ハンドボールリーグでは、各会場においてファンの皆さんにベストプレイヤーを選んでいただき、日本リーグオールスター東西対抗戦（昭和58年1月16日・駒沢体育館）を開催しております。

各会場でリーグにご声援いただくファンの皆さんの一人でも多くの方が、この東西両チームの編成に参加してくださるようにお願いいたします。（投票用紙は各会場に用意されております）。

■後期の試合日程は下表のとおり（◎印は女子の試合、※印は二部リーグ、☆報道☆は報道責任会場）


外人助っ人の活躍がカギ

第1週第1日 10月17日(日)	朝霞市立総合体育館	11：30 ※◎ムネカタ×重機　13：00 ◎ジャスコ×大崎　14：30 大同×大崎
	奥武山体育館（☆報道☆）	13：30 ◎北国×大和　15：30 本田×日新
第2週第1日 10月23日(土)	東京重機体育館	14：00 ※三陽×三景　15：20 ※日鉄×セントラル　16：40 ※中村×トヨタ
第2日 10月24日(日)	高松市民文化センター別館	12：00 ◎ジャスコ×ビクター　13：30 湧永×イーグルス
	高岡市民体育館（☆報道☆）	13：30 ◎立石×日立　15：00 日新×大崎
	境港市民体育館	11：00 ◎ブラザー×大和　12：30 大同×本田
	東京重機体育館	10：00 ※三陽×トヨタ　11：20 ※中村×三景
第3週第1日 10月30日(土)	大阪市中央体育館（☆報道☆）	15：00 ※大ガス×日鉄　16：20 ◎ジャスコ×大和　17：40 大同×イーグルス
	京都府立体育館	16：00 湧永×日新　17：25 ◎立石×ブラザー
	石川県立体育館	14：20 本田×大崎　15：45 ◎ビクター×北国
第2日 10月31日(日)	神戸市立中央体育館（☆報道☆）	13：30 イーグルス×日新　15：00 ◎ブラザー×ビクター　16：30 湧永×大崎
	栃木市総合体育館	13：00 ※三陽×中村　14：20 ◎大崎×日立
最終週第1日 11月3日(祝)	日新製鋼呉体育館	13：00 ◎日立×北国　14：20 大同×日新
	熊本県立総合体育館	13：00 湧永×本田　14：30 ◎立石×大崎
	相模原市立総合体育館（☆報道☆）	12：00 ◎ビクター×大和　13：25 イーグルス×大崎　15：00 ※セントラル×大ガス
第2日 11月6日(土)	四日市体育館	13：15 ※トヨタ×三景　14：30 ◎立石×ジャスコ　15：45 本田×イーグルス
最終日 11月7日(日)	名古屋市体育館	13：00 ◎大崎×ブラザー　14：30 大同×湧永



"まごころのおつきあい"が
私たちのモットーです



あなたの銀行

北國銀行

●本店　石川県金沢市下堤町　●店舗　石川・富山・福井・東京・大阪・名古屋・京都・104か店

雷災からゴルファーを守る大崎のFYケージ


東京ゴルフ倶楽部

いま、安全なゴルフ場作りが、
社会的なニーズを呼んでいます。

もしプレー中に雷に会ったら、せっかくのナイスショットも、命がけで逃げなければなりません。そんな時、安全な待避小屋が備えてあれば、あなたのゴルフ場は完璧です。
落雷は、時、場所、人を選びません。安全な待避小屋→大崎のFYケージを適所に設置して中に入れば、雷災から完全に保護されます。


大崎電氣工業株式會社
本社　東京都品川区東五反田二丁目二番七号
☎ (03) 443−7171 (大代表)　〒141

FYケージ

防雷シエルター
工業所有権出願中
特許3件
実用新案4件
意匠5件
商標1件



練習が技術をつちかい 技術が信頼を支える

きょうの反省を、あすの練習に、試合に結びつける……スポーツマンにとって、大切な心がまえです。常により高度な技術をめざしてチャレンジする――それはブラザーが目ざしているものと一致します。技術がチームメートの信頼を支えるように、お客さまの信頼に応えるのは、高度な技術に支えられた品質以外にないのですから――。

BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社



勝利の伝説シェブロンラインは最高級品の証。

"Chevron-Line" ist der Beweis höchster Qualität.



勝利をめざすなら、選ぶべきだ!

——無言の威圧感を与えるヒュンメル——

DOUBLE SCORE

総発売元株式会社ダブルスコア／総代理店大松貿易株式会社

大阪市南区難波新地3-27プリンスビルB1　〒542 TEL. (06) 213-6646

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二一二号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
昭和五七年九月二十五日 印刷
昭和五七年十月一日 発行
東京都渋谷区神南一ー一ー一
電話 代表(467)七〇九七
振替 東京 六ー五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価三百五十円
(年間購読料三千三百円)

株式会社アシックス

ストップ&ジャンプ自在。

グリップ力抜群のニューソール装備、新製品〈スカイハンドスペシャル〉

アシックスタイガーの新製品 スカイハンドスペシャル はストップ&ジャンプが自在にできるハンドボール専用シューズです。
写真の底意匠にご注目ください。複雑なトレッド(溝)をソール全面に刻み込んでいます。これは、ハンドボール特有の、多角的な動きに対応するためで、とくに拇指球下のリング状意匠はグリップ力を飛躍的に高めます。このため、選手は思うようにストップでき、また思うようにジャンプすることができます。
●甲被はステア表革と銀付ベロアの2タイプ。●独創のカップソールは甲被を食わえ込む設計で、足ブレを防ぎます。●大型ヒールカウンターはカカトをガッチリ保持し、選手の動作能力を高めます。
●軽さ、クッション性も卓越。
ストップ&ジャンプの スカイハンドスペシャル で栄光をつかんでください。



スカイハンド スペシャル(THH705) NEW
●甲被はステア表革(ホワイト)、銀付ベロア(レッド、ロイヤルブルー)、裏地はナイロン。●アウターソールはラバーのカップソール。●ロイヤルブルー×ホワイト、ホワイト×レッド、レッド×ホワイト。●サイズ 22.5~28.0cm
標準小売価格 ¥12,000